

Configuration Professionalを使用した基本ルータの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[Cisco Configuration Professional のインストール](#)

[CCPを実行するためのルータ設定](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[コンフィギュレーション](#)

[ネットワーク図](#)

[インターフェイス設定](#)

[NAT 設定](#)

[ダイナミックNAT の設定](#)

[スタティック NAT の設定](#)

[ルーティング設定](#)

[スタティック ルーティングの設定](#)

[ダイナミック ルーティングの設定](#)

[その他の設定](#)

[CLIでの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[ルータのユーザ名とパスワードを変更するにはどうすればよいのですか。](#)

[Internet Explorer 8を使用してCCPにアクセスすると、内部エラーが発生します。これを解決するにはどうすればよいのですか。](#)

[CCPをインストールしようとする時、次のエラーメッセージが表示されます。「Unable to read the source file.File could be Corrupted.Please re-install Cisco Configuration Professional to resolve the issue.」これを解決するにはどうすればよいのですか。](#)

[CCPテクニカルログにアクセスするにはどうすればよいのですか。](#)

[ルータのディスカバリには通常よりも時間がかかります。この問題を解決するにはどうすればよいのですか。](#)

[CCPでIPS設定ページを表示できません。この問題を解決するにはどうすればよいのですか。](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Configuration Professional(CCP)を使用してルータの基本設定を行う方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.4(9) が稼働する Cisco 2811 ルータ
- CCP バージョン 2.5

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

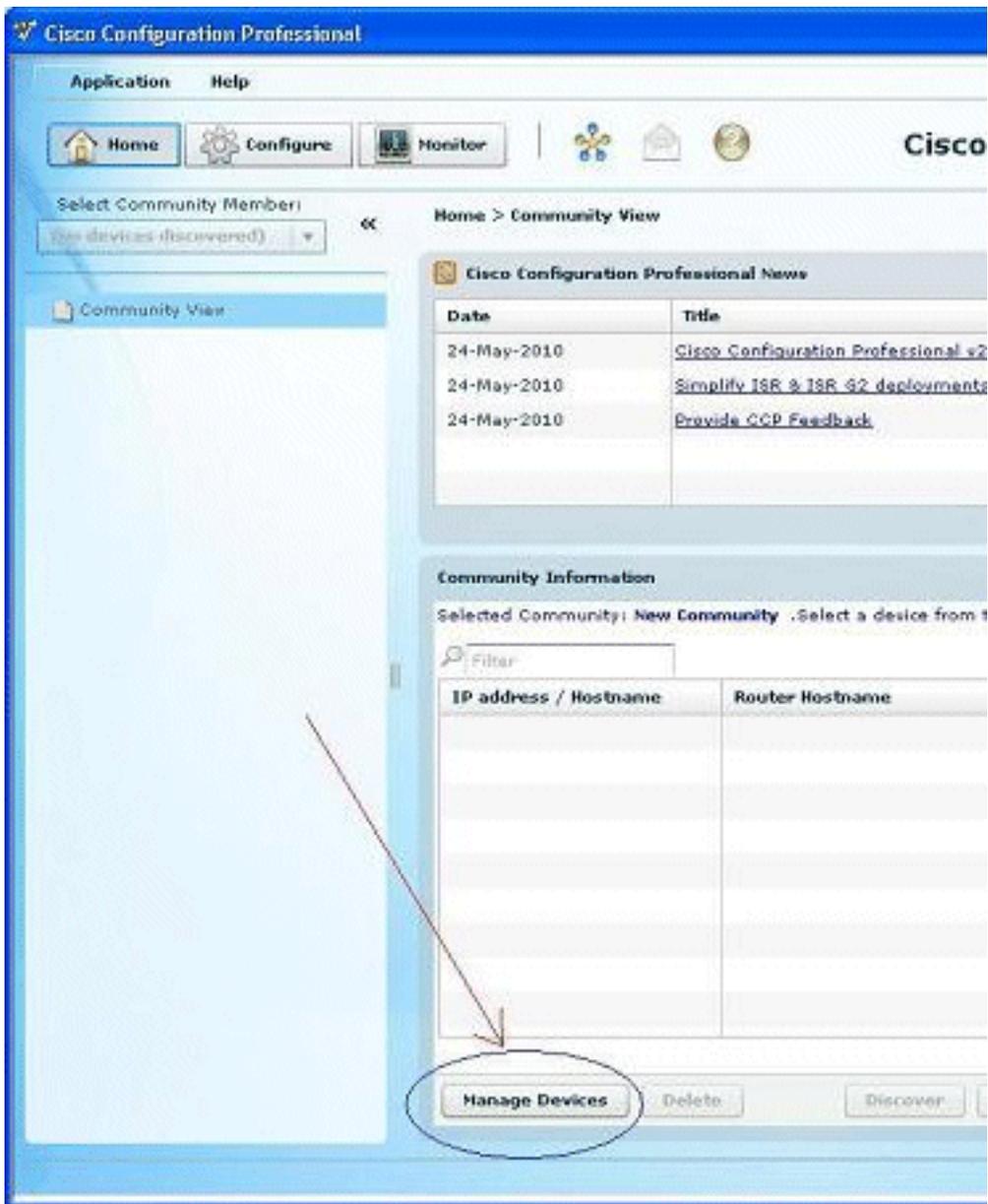
このドキュメントでは、Cisco Configuration Professional(CCP)を使用してルータの基本設定を行う方法について説明します。ルータの基本設定には、IPアドレス、デフォルトルーティング、スタティックルーティングとダイナミックルーティング、スタティックNATとダイナミックNAT、ホスト名、バナー、シークレットパスワード、ユーザアカウント、およびその他のオプションの設定が含まれます。CCPを使用すると、使いやすいWebベースの管理インターフェイスを使用して、Small Office Home Office(SOHO)、Branch Office (BO ; ブランチオフィス)、支社、中央サイト、本社など、複数のネットワーク環境でルータを設定できます。

注：詳細、ドキュメント、およびサポートの提供状況については、[Cisco Configuration Professional](#)および[Cisco Configuration Professional for Catalyst](#)を参照してください。

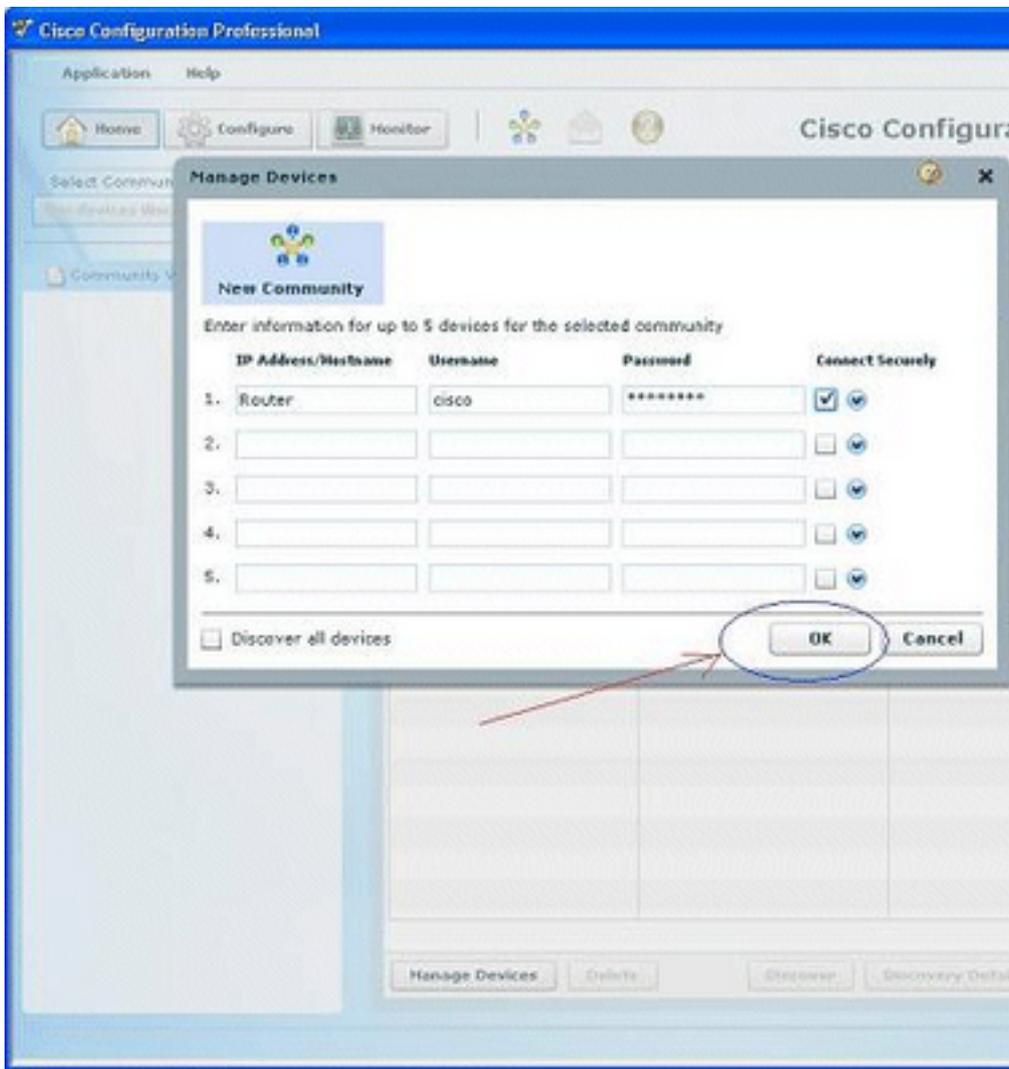
Cisco Configuration Professional のインストール

CCP をインストールするには、次の手順を実行します。

1. CCP V2.5をダウンロードし、ローカルPCにインストールします。シスコの登録ユーザのみが内部ツールと情報にアクセスできます。
2. ローカルPCから[Start] > [Programs] > [Cisco Configuration Professional] の順に選択して CCPを起動し、設定するルータが存在する[Community] を選択します。

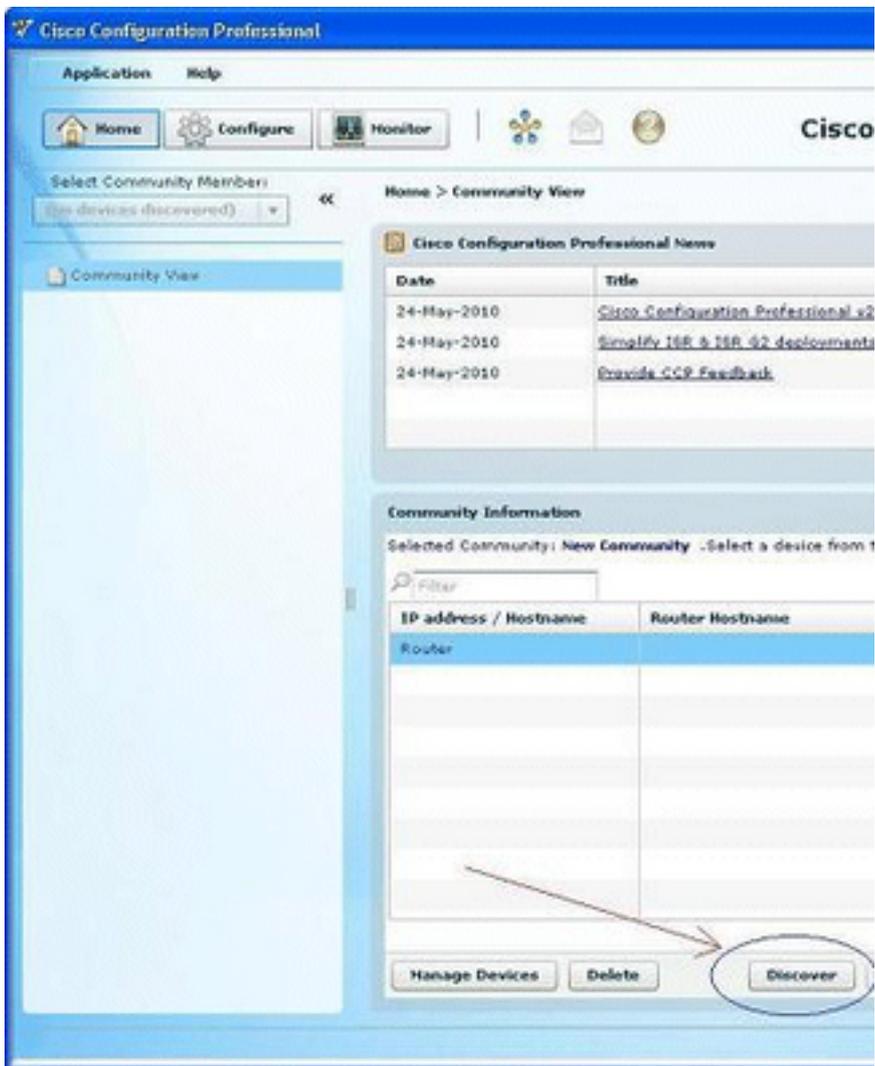


デバイスの管理



新しいコミュニティの選択

3. 設定するデバイスを検出するには、ルータを強調表示し、[Discover] ボタンをクリックします。



新しいコミュニティの発見

CCPを実行するためのルータ設定

CiscoルータでCCPを実行するには、次の設定手順を実行します。

1. Telnet、SSH、またはコンソールを使用してルータに接続します。次のコマンドを使用して、グローバルコンフィギュレーションモードに入ります。

```
Router(config)#enable
```

2. HTTP および HTTPS が有効で、標準外のポート番号を使用するように設定されている場合は、この手順をスキップして、そのまま設定済みのポート番号を使用してください。次のCisco IOSソフトウェアコマンドを使用して、ルータのHTTPまたはHTTPSサーバを有効にします。

```
Router(config)# ip http server
Router(config)# ip http secure-server
Router(config)# ip http authentication local
```

3. 権限レベル 15 を持つユーザを作成します。

```
Router(config)#username privilege 15 password 0
```

注: <username>および <password>は、設定するユーザ名とパスワードで置き換えます。自分のユーザパスワードやイネーブルパスワードと同じものを使用しないようにしてください。

4. SSH および Telnet にローカル ログインおよび権限レベル 15 を設定します。

```
Router(config)# line vty 0 4
Router(config-line)# privilege level 15
Router(config-line)# login local
```

```
Router(config-line)# transport input telnet
Router(config-line)# transport input telnet ssh
Router(config-line)# exit
```

5. (任意) ローカル ロギングをイネーブルにして、ログ モニタリング機能をサポートします

。

```
Router(config)# logging buffered 51200 warning
```

要件

このドキュメントでは、Ciscoルータが完全に動作していて、CCPで設定を変更できるように設定されていることを前提としています。

表記法

ドキュメント表記の詳細については、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

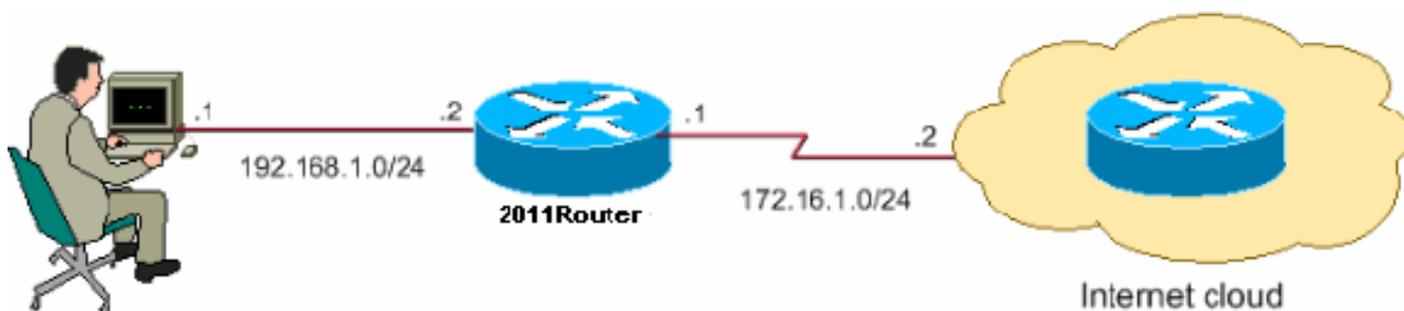
コンフィギュレーション

このセクションでは、ネットワーク内にあるルータの基本的な設定を行うための情報を提供します。

注：このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、Command Lookup Tool (登録ユーザ専用) を使用してください。シスコの登録ユーザのみが内部ツールと情報にアクセスできます。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク セットアップを使用します。



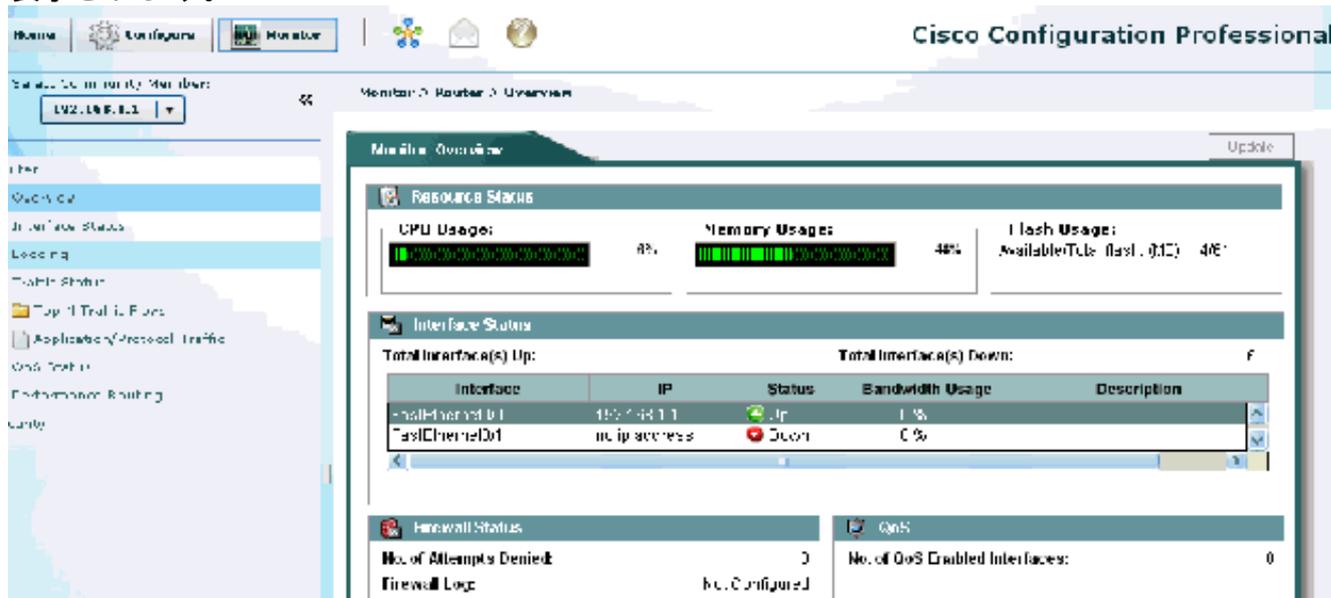
ネットワークのセットアップ

注：この設定で使用されるIPアドレス方式は、インターネット上で正式にルーティングすることはできません。これらは、ラボ環境で使用された [RFC 1918 のアドレス](#)です。

インターフェイス設定

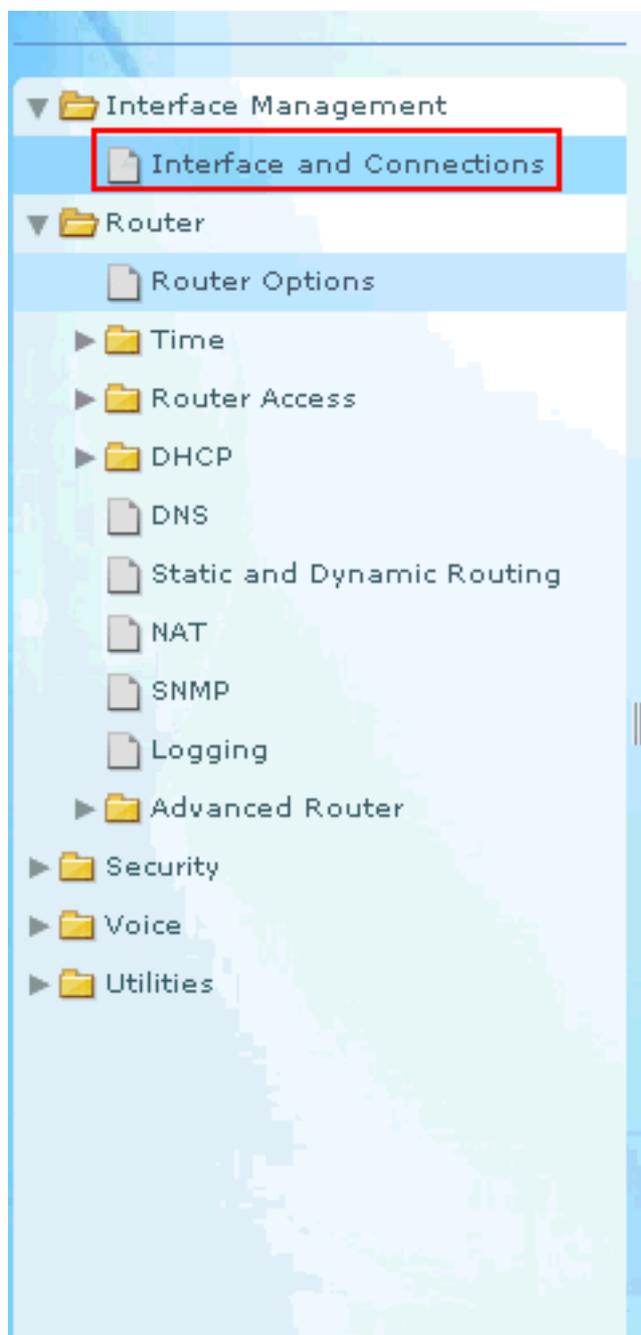
Ciscoルータのインターフェイスを設定するには、次の手順を実行します。

1. [Home] をクリックして、CCPホームページに移動します。CCPホームページには、ルータのハードウェアとソフトウェア、機能の稼働率、および設定の要約などの情報が表示されます。



CCPホームページ

2. [Configure] > [Interface Management] > [Interfaces and Connections] > [Create Connection] の順に選択して、インターフェイスのWAN接続を設定します。たとえば FastEthernet 0/1 の場合、[Ethernet] オプションを選択して [Create New Connection] をクリックします。注：Ethernetなどの他のタイプのインターフェイスの場合は、対応するインターフェイスタイプを選択し、[Create New Connection] をクリックして先に進みます。



インターフェイスと接続

Create Connection | Edit Interface/Connection

Create New Connection

Select a connection and click Create New Connection

Ethernet LAN

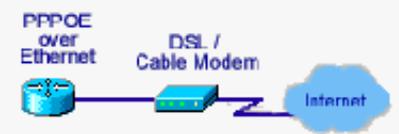
Ethernet (PPPoE or Unencapsulated Routing)

Information

You can configure an ethernet WAN interface for PPPoE or unencapsulated routing. Click Create New Connection to start.

Create New Connector

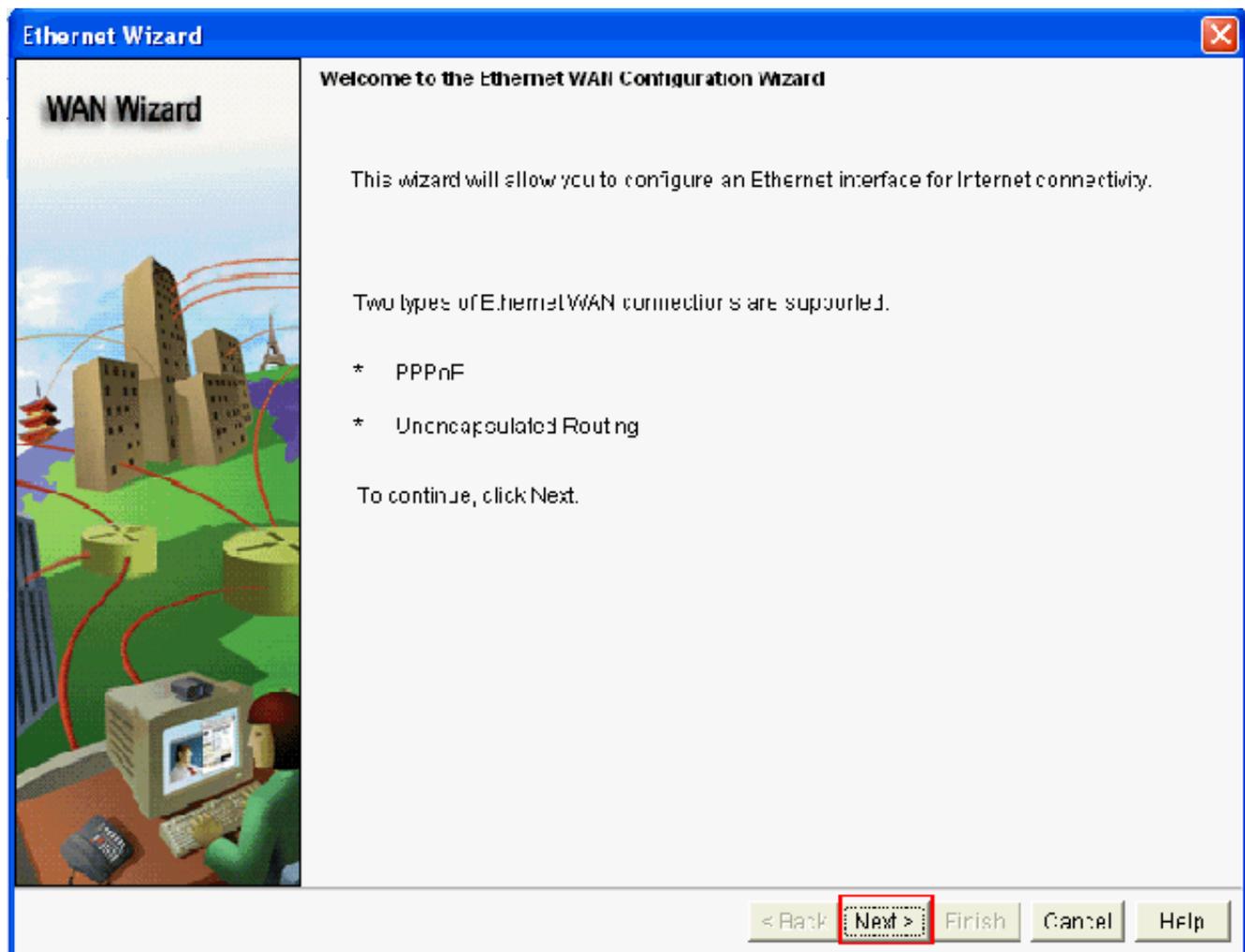
Use Case Scenario



The diagram illustrates a network configuration. On the left, a blue router icon is labeled 'PPPoE over Ethernet'. A blue line connects it to a blue modem icon labeled 'DSL / Cable Modem'. Another blue line connects the modem to a blue cloud icon labeled 'Internet'. The background of the right side of the window features a large, faint, stylized graphic of a hand holding a globe.

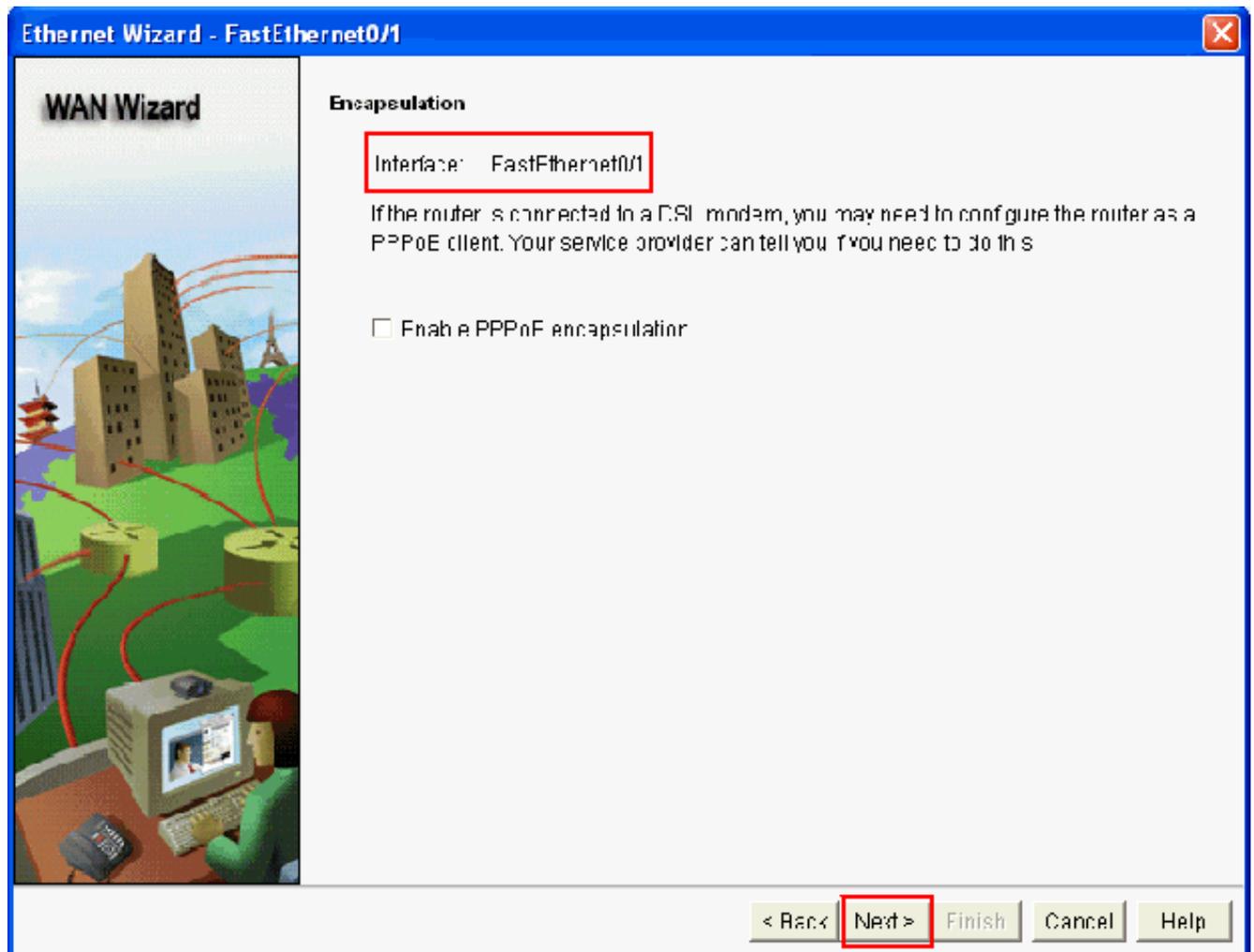
新しい接続の作成

3. 選択したインターフェイスが表示されたら、[Next] をクリックして次に進みます。



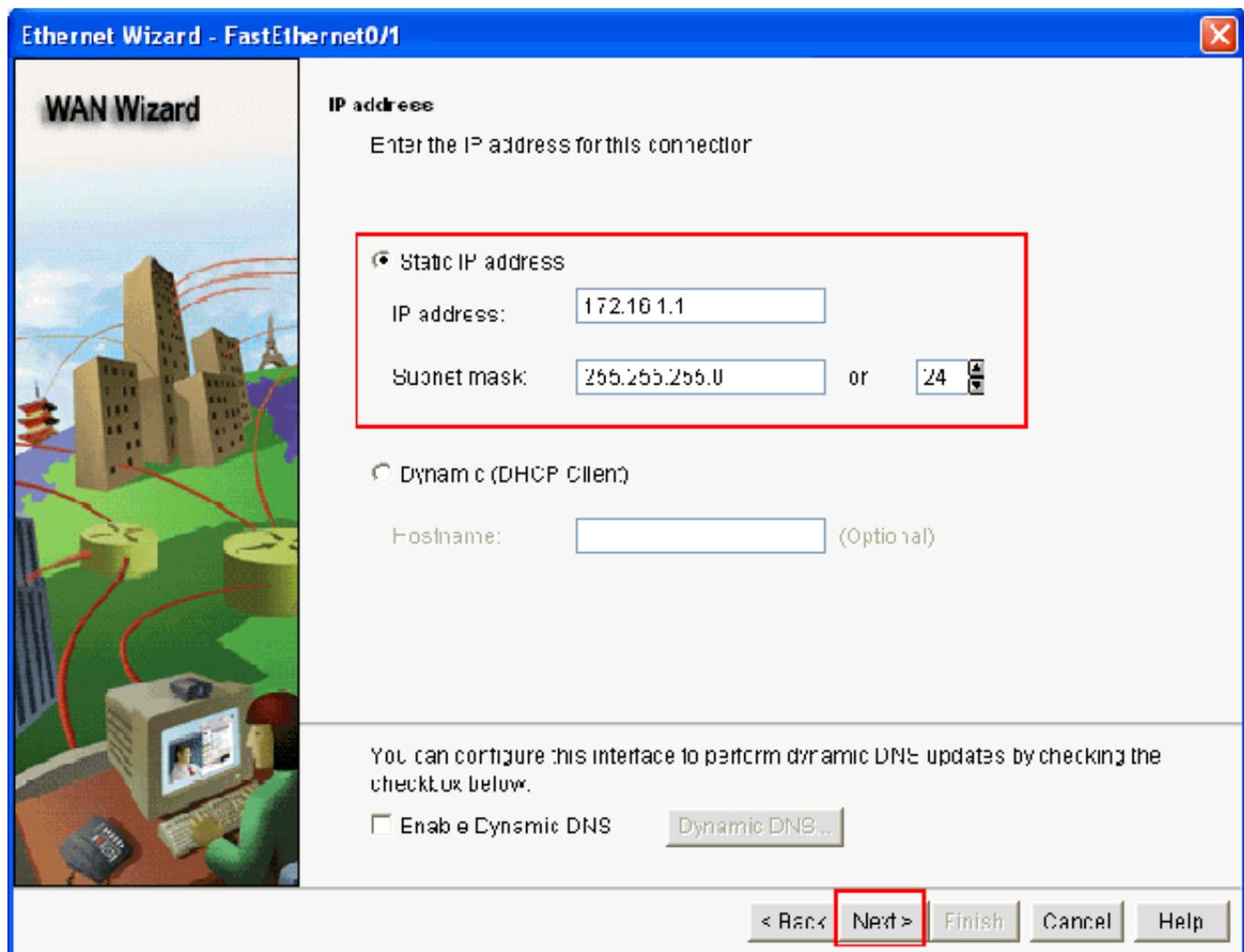
WANウィザードが開く

4. 使用可能なインターフェイス オプションから (目的の) [FastEthernet 0/1] を選択し、[Next] をクリックします。



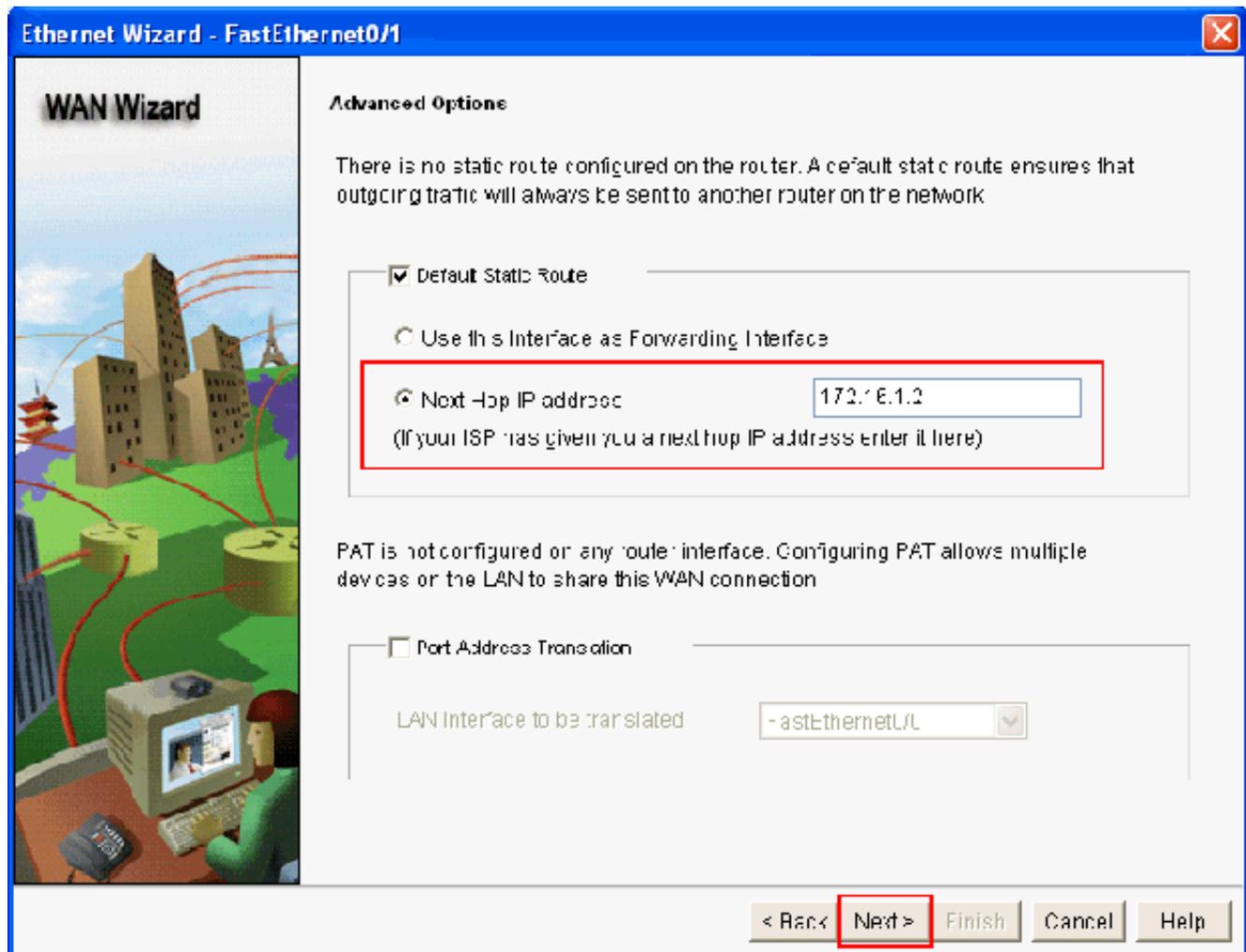
Available InterfacesオプションからFastEthernet 0/1を選択します

5. インターフェイスの固定 IP アドレスと対応するサブネット マスクを指定して、[Next] をクリックします。



IPアドレスとサブネットマスクの指定

6. ISP から提供されるネクストホップ IP アドレス (ネットワーク ダイアグラムでは、172.16.1.2) などのオプション パラメータを使用してデフォルト ルーティングを設定し、[Next] をクリックします。

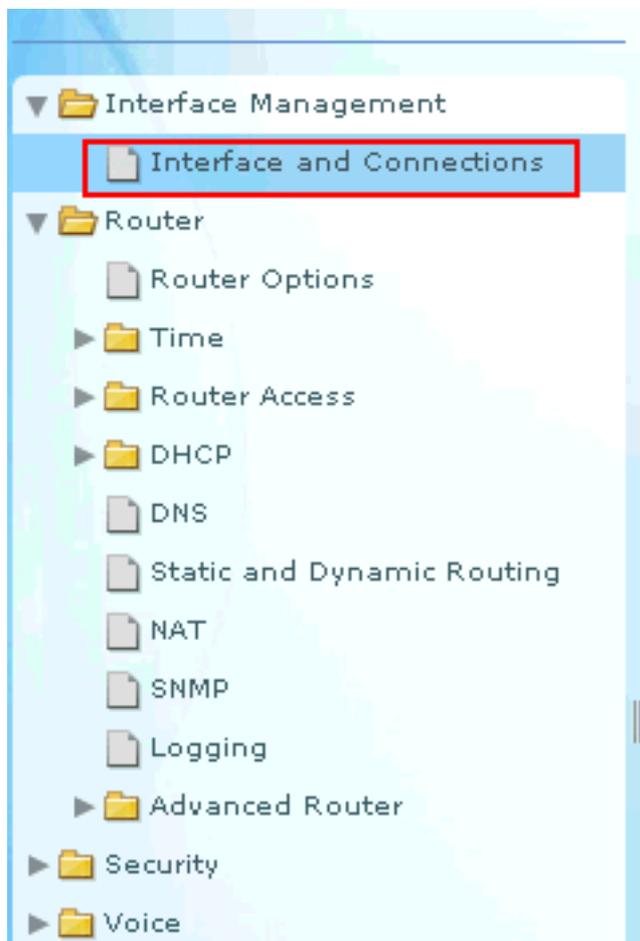


デフォルトルーティングの設定 次のウィンドウが表示され、ユーザが行った設定の要約が表示されます。[Finish] をクリックします。注：次のチェックボックスをオンにします。 Test the connectivity after configuring 設定の接続が機能することを確認します。

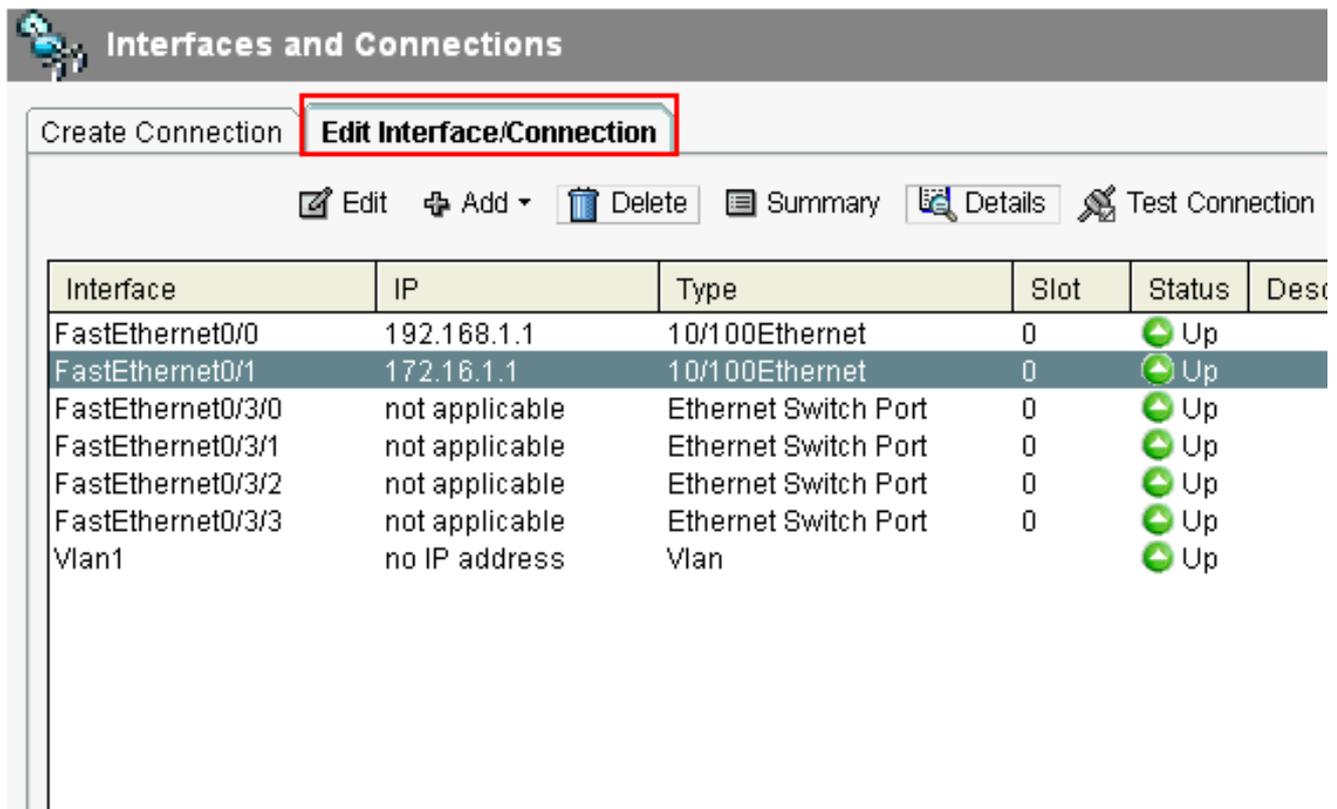


設定の概要次のウィンドウが表示され、ルータへのコマンド転送状況が表示されます。非互換コマンドや非サポート機能によりコマンド転送が失敗した場合は、エラーが表示されます。

7. [Configure] > [Interface Management] > [Interfaces and Connections] > [Edit Interfaces/Connections] の順に選択して、各種のインターフェイスを追加/編集/削除します



インターフェイスと接続の編集



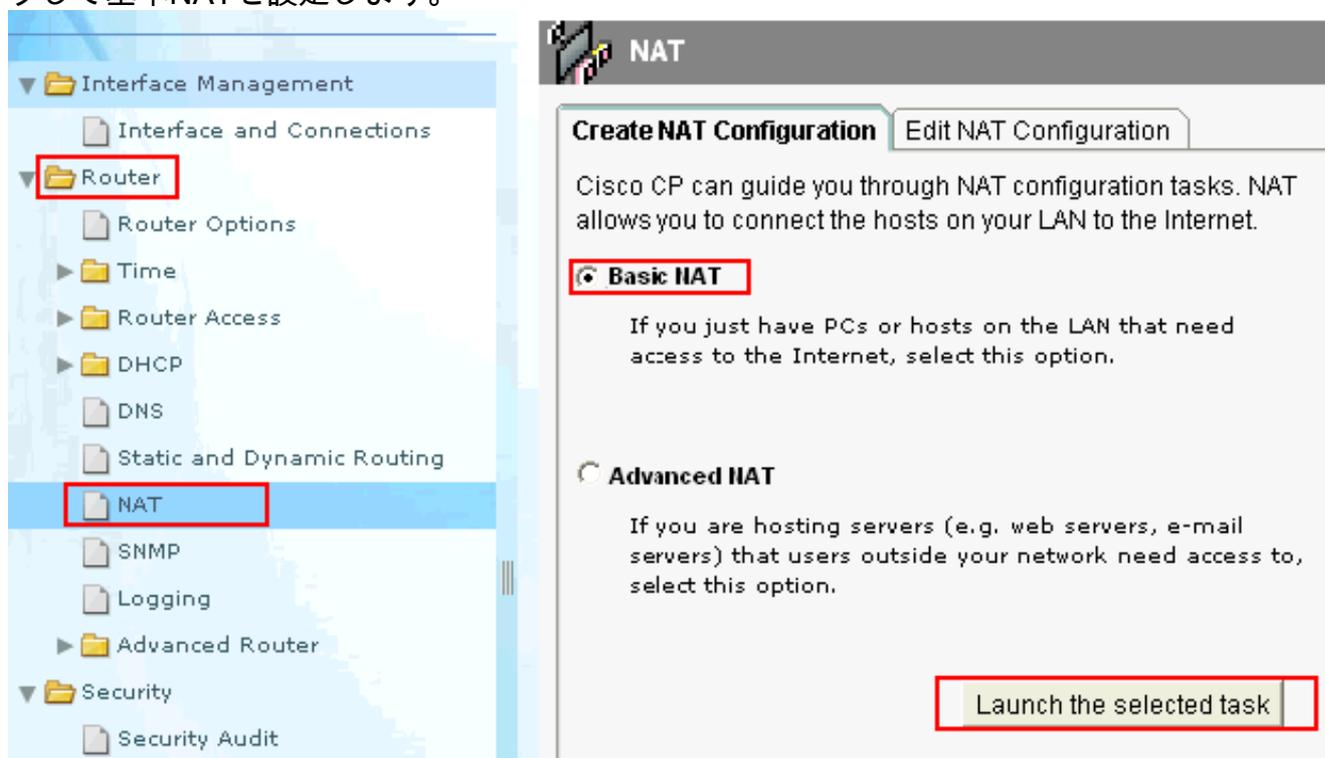
Interfaces and Connections ウィンドウ インターフェイスの設定を編集または変更するには、変更するインターフェイスを強調表示して [Edit] をクリックします。ここでは、現在の固定IPアドレスを変更できます。

NAT 設定

ダイナミックNATの設定

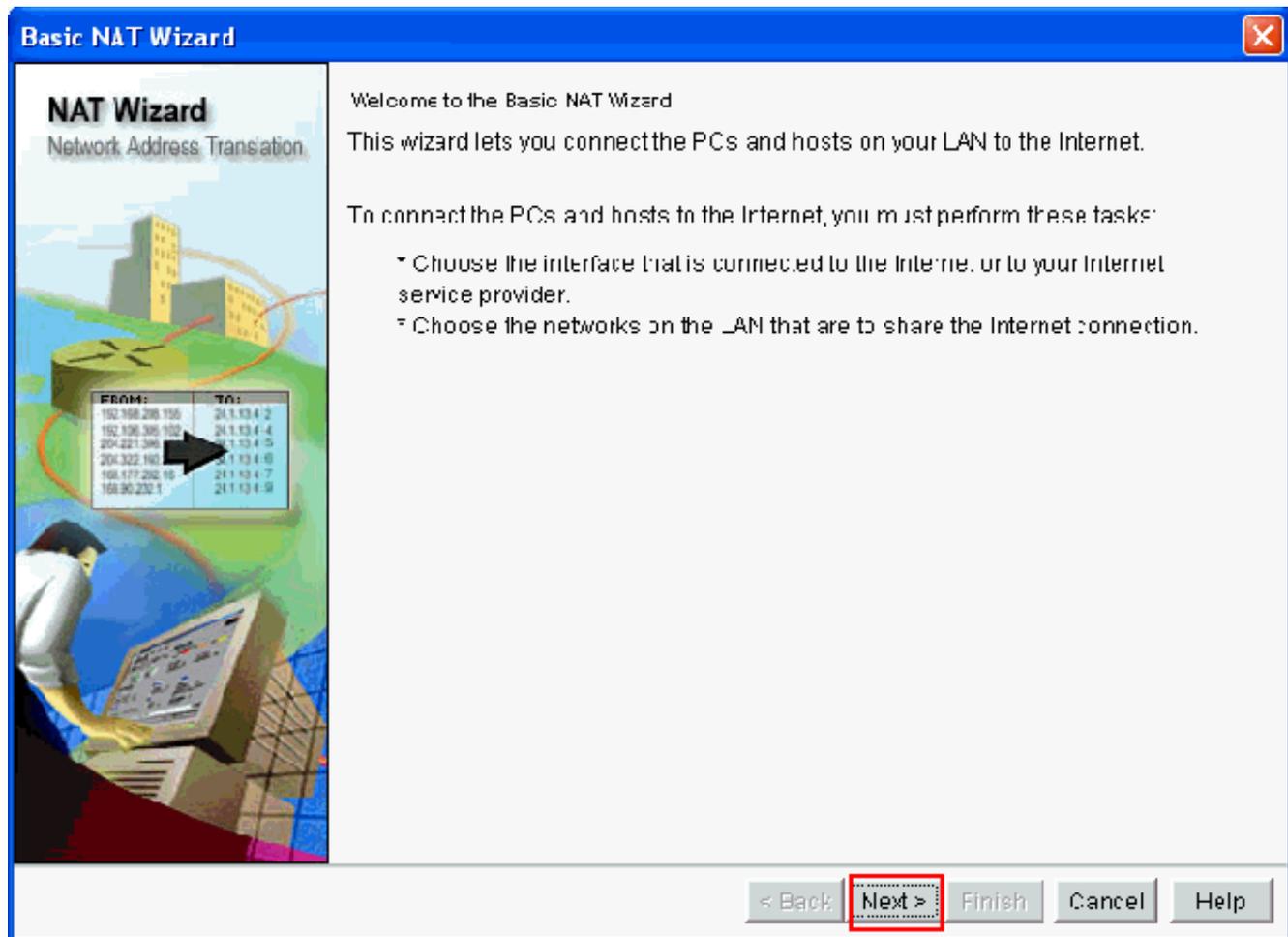
CiscoルータでダイナミックNATを設定するには、次の手順を実行します。

1. [Configure] > [Router] > [NAT] > [Basic NAT]を選択し、[Launch the selected task] をクリックして基本NATを設定します。



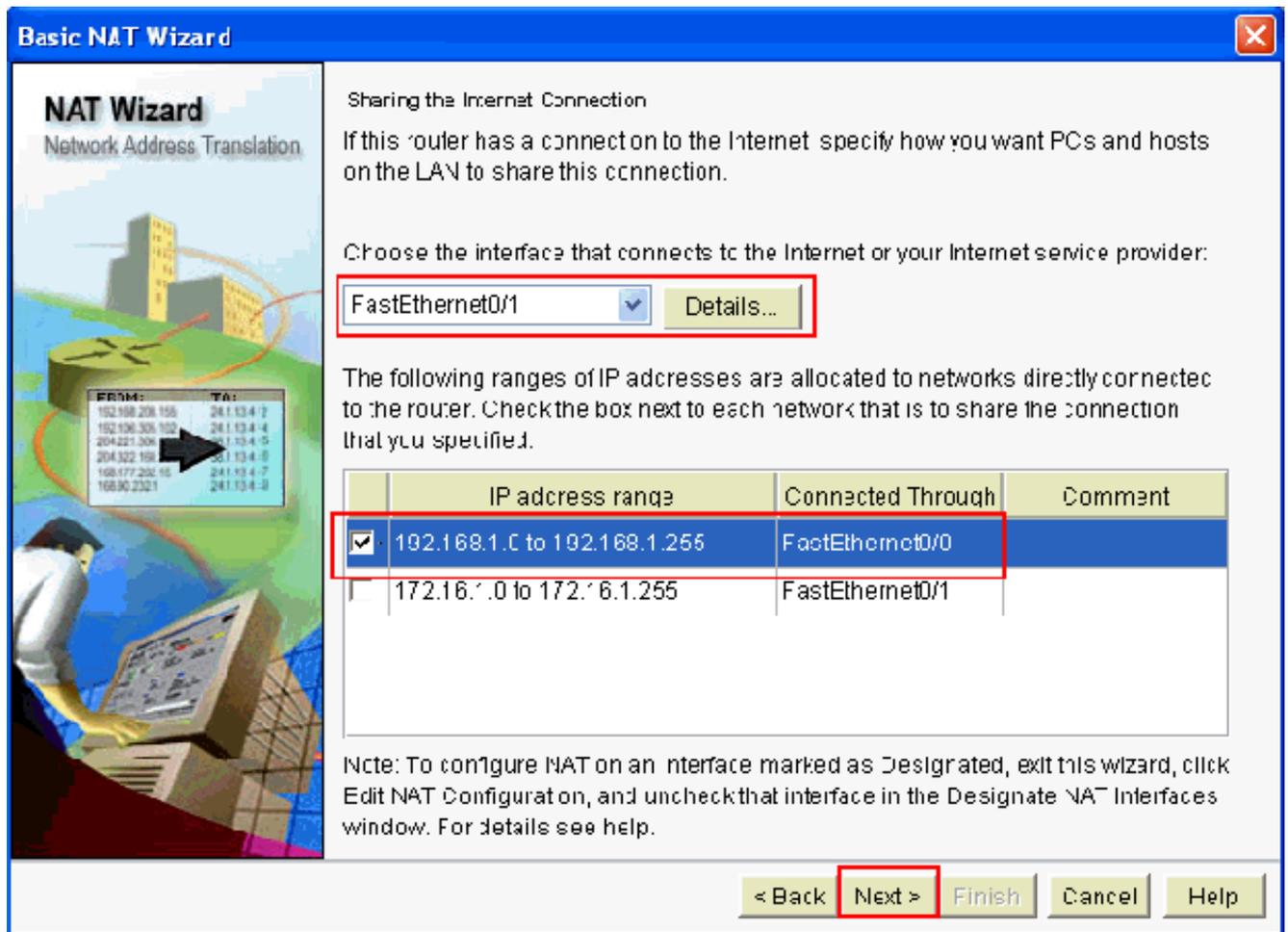
選択したタスクの起動

2. [next] をクリックします。



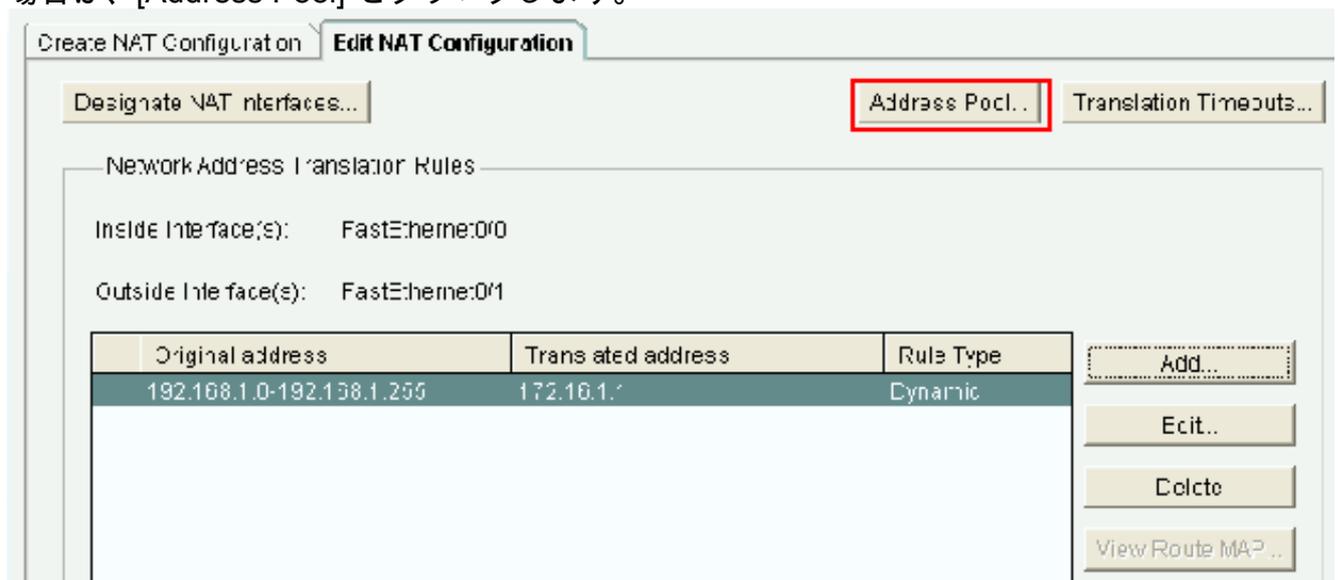
[次へ (Next)] を選択します。

- インターネットまたは ISP に接続するインターフェイスを選択し、インターネット アクセスで共有する IP アドレス範囲を選択します。この情報を選択したら、[Next] をクリックします。



[Interface] [Connect to the Internet or Your ISP]を選択します

4. 次のウィンドウが表示され、ユーザが行った設定の要約が表示されます。[Finish] をクリックします。
5. [Edit NAT Configuration] ウィンドウに、変換されたIPアドレスがオーバーロードされたダイナミックNAT設定が表示されます。アドレスプールを使用してダイナミックNATを設定する場合は、[Address Pool] をクリックします。



NAT設定ウィンドウの編集とアドレスプールの選択

6. [Add] をクリックします。ここでは、プール名、IP アドレス範囲、ネットマスクなどの情報を指定します。プール内のほとんどのアドレスが割り当てられ、IP アドレスプールをほぼ使い果たしてしまうことがあります。このような場合には、PAT を使用して1つの IP アドレスで複数の IP アドレス要求に対応することができます。アドレスプールが枯渇しそうに

なったときにルータで PAT が使用されるようにするには、[Port Address Translation (PAT)] にチェックマークを入れます。[OK] をクリックします。

Add Address Pool

Pool Name:

Port Address Translation(PAT)

IP address: --

Network Mask: or

ポートアドレス変換

(PAT)のチェック

7. [Add] をクリックします。

Address Pools

Address Pools are used to configure Dynamic Network Address Translation addresses.

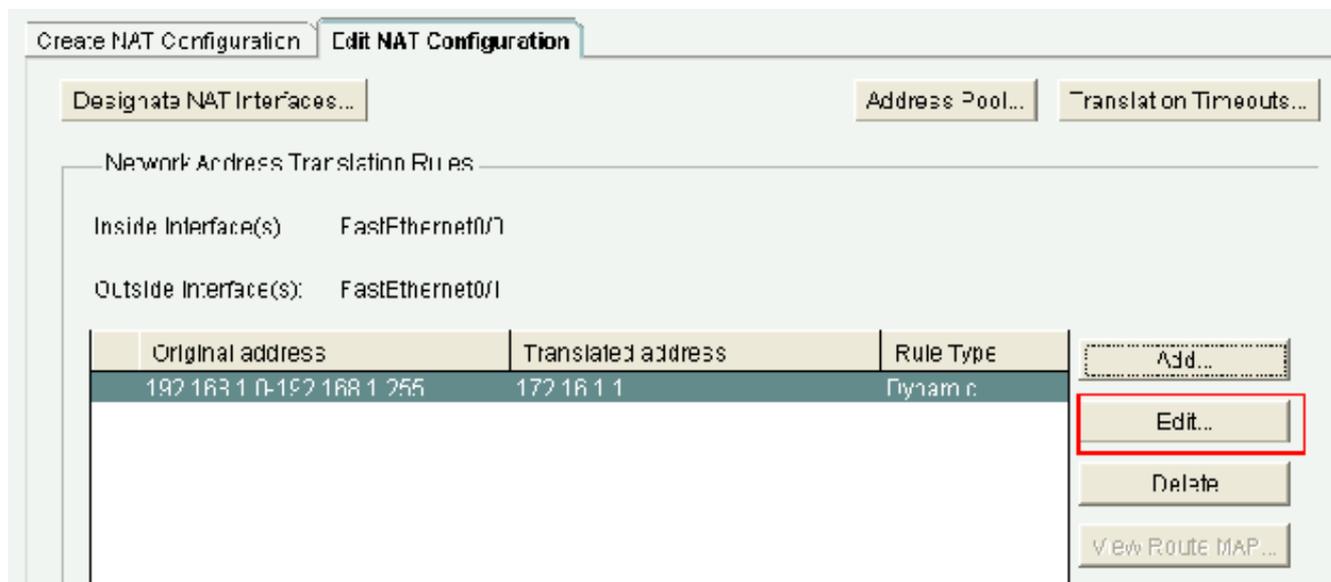
Pool Name	Address
pool	10.10.10.1 - 10.10.10.10

Clone selected Entry on Add

アドレスプ

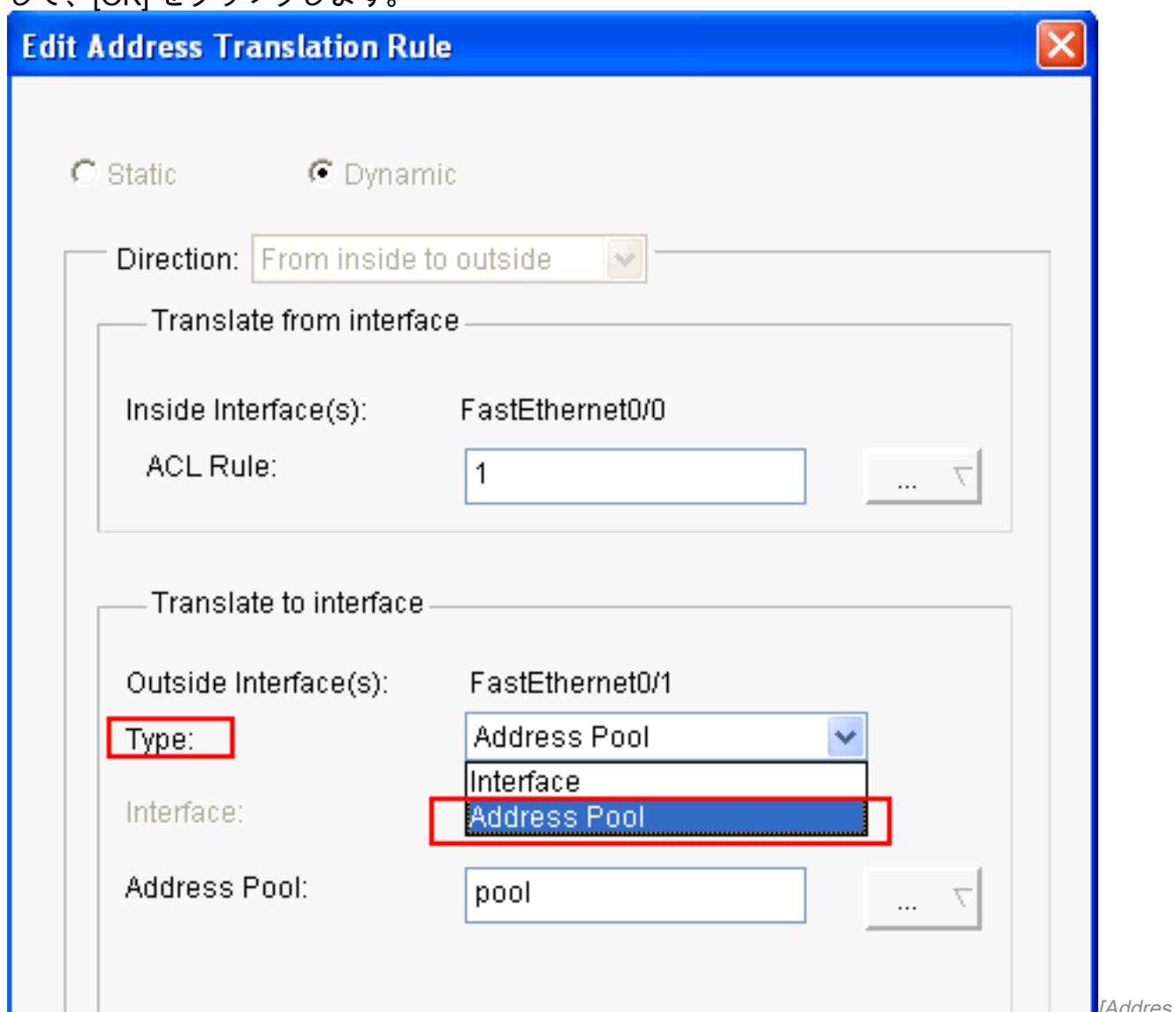
ールによるダイナミックNATの設定

8. [Edit] をクリックします。

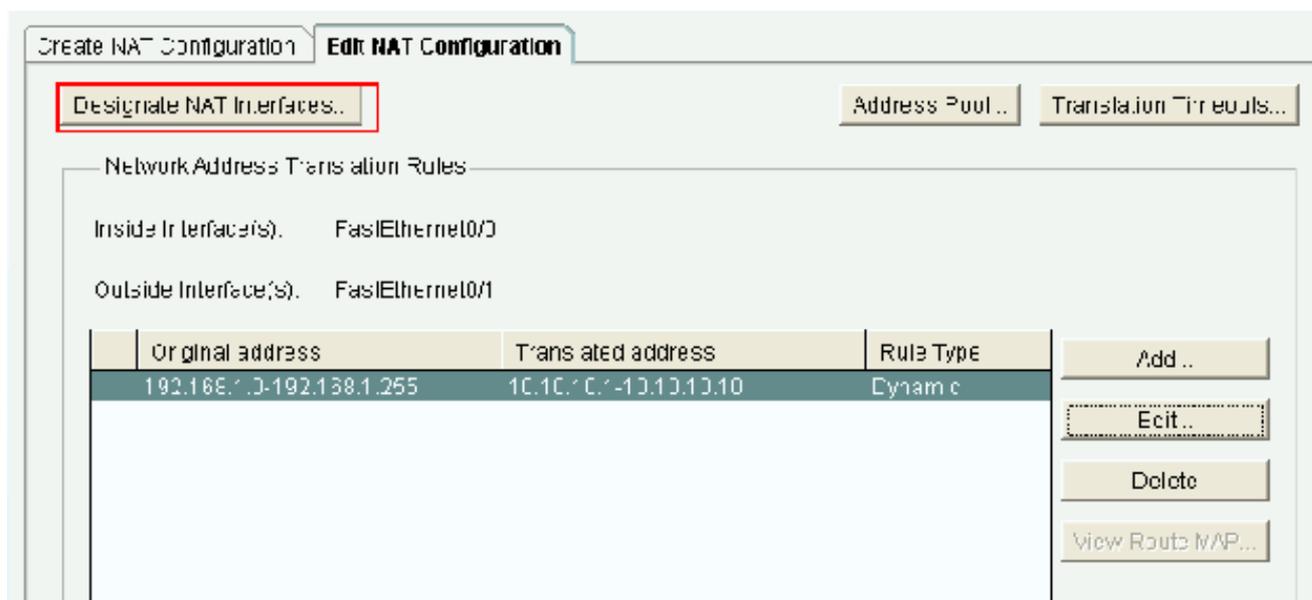


NAT設定の編集

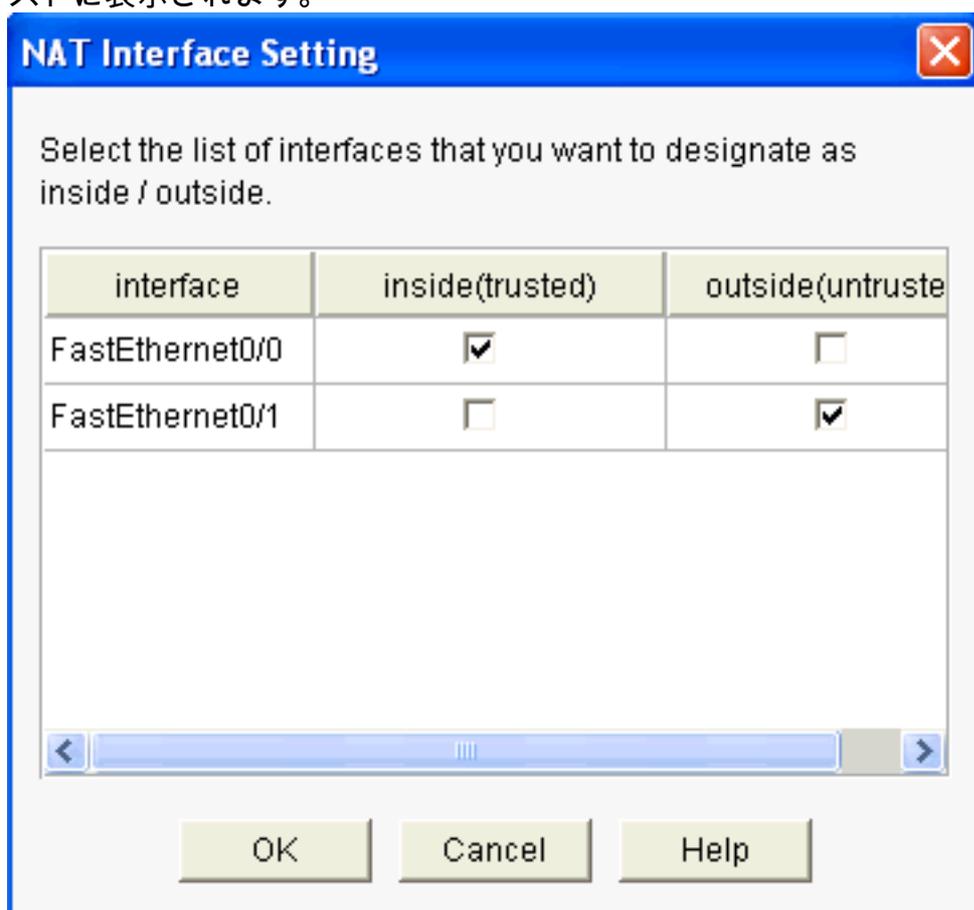
- [Type] フィールドで [Address Pool] を選択し、[Address Pool] に「pool」という名前を入力して、[OK] をクリックします。



- 次のウィンドウは、アドレスプールを使用したダイナミックNATの設定を示しています。[Designate NAT Interfaces] をクリックします。



NATインターフェイスの指定 次のウィンドウを使用して、NAT 変換で使用する内部インターフェイスと外部インターフェイスを指定します。NAT では変換ルールを解釈する際に、内部と外部の指定を参照します。これは、変換が内部から外部、外部から内部の両方向で行われるためです。指定すると、すべての NAT 変換ルールでこれらのインターフェイスが使用されます。指定されたインターフェイスが、メイン NAT ウィンドウの Translation Rules リストに表示されます。



NATインターフェイスの設定

スタティック NAT の設定

Cisco ルータでスタティック NAT を設定するには、次の手順を実行します。

1. [Configure] > [Router] > [NAT] > [Edit NAT Configuration] を選択し、[Add] をクリックしてス

スタティックNATを設定します。



スタティックNATの設定

2. [Direction] で[from inside to outside]または[from outside to inside]を選択し、[Translate from Interface] で変換する内部IPアドレスを指定します。[Translate to Interface] エリアで、[Type] を選択します。変換元のアドレスを [IP Address] フィールドで指定した IP アドレスに変換する場合は、[IP Address] を選択します。[Translate from Address] <でルータのインターフェイスのアドレスを使用する場合は、[Interface] を選択します。変換元のアドレスが、[Interface] フィールドで指定したインターフェイスに割り当てられている IP アドレスに変換されます。変換に内部デバイスのポート情報を含めるには、[Redirect Port] にチェックマークを入れます。これにより、各デバイスに指定されたポートが同一でない限り、複数のデバイスで1つのパブリック IP アドレスを使用できるようになります。ポートごとにエントリを作成する必要があります mapping アドレスに変換されます。TCP ポート番号の場合は [TCP]、UDP ポート番号の場合は [UDP] をクリックします。Original Port フィールドに、内部デバイスのポート番号を入力します。Translated Port フィールドに、ルータがこの変換で使用するポート番号を入力します。『[ネットワークアドレス変換の設定](#)』を参照してください。次のウィンドウは、ポートリダイレクションが有効になっているスタティックNAT設定を示しています。

Add Address Translation Rule ✕

Static Dynamic

Direction: From inside to outside ▾

Translate from interface

Inside Interface(s): FastEthernet0/0
IP address: 10.10.10.1
Network Mask(optional): or ▾ ▾

Translate to interface

Outside Interface(s): FastEthernet0/1
Type: IP address ▾
Interface: FastEthernet0/0 ▾
IP address: 172.16.1.1

Redirect Port

TCP UDP

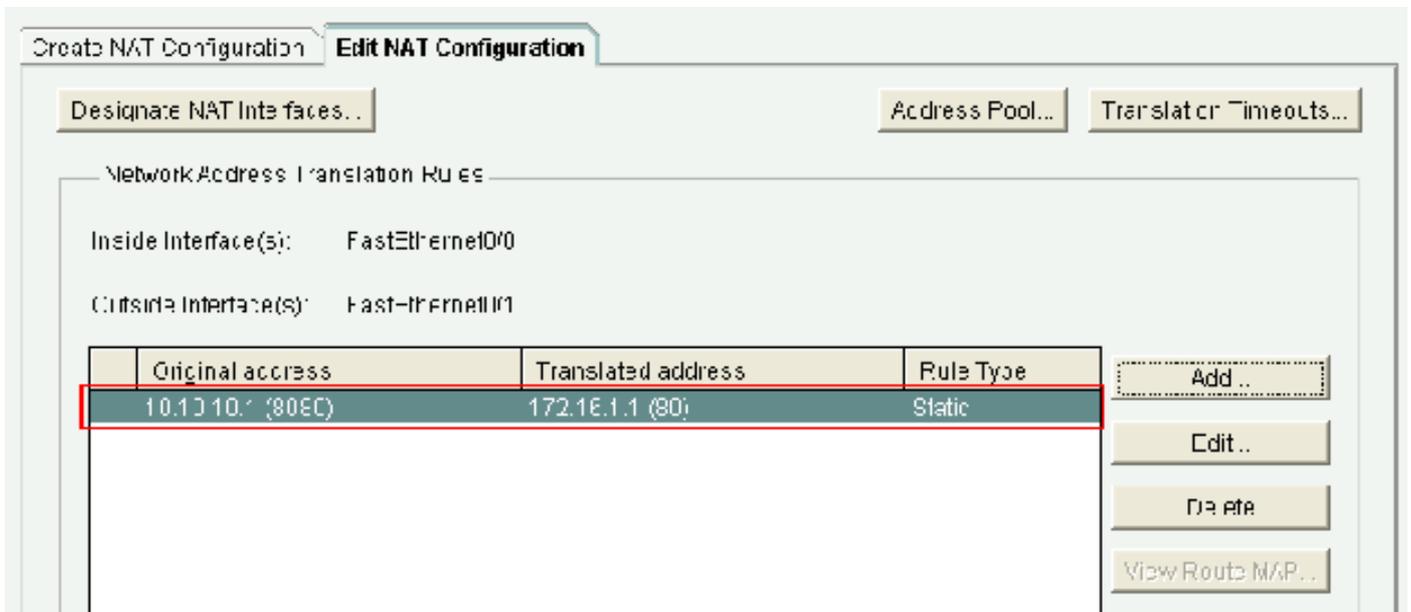
Original Port: 8080 Translated Port: 80

OK Cancel Help

ポート

のリダイレクト

次のウィンドウは、ポートリダイレクションが有効になっているスタティックNAT設定を示しています。



ポートリダイレクションを使用したスタティックNAT

ルーティング設定

スタティックルーティングの設定

Ciscoルータでスタティックルーティングを設定するには、次の手順を実行します。

1. [Configure] > [Router] > [Static and Dynamic Routing] の順に選択して [Add] をクリックし、スタティックルーティングを設定します。



スタティックルーティングの設定

2. 宛先ネットワークアドレスとマスクを入力し、発信インターフェイスまたはネクストホップ IP アドレスのいずれかを選択します。

Add IP Static Route [X]

Destination Network

Prefix: 10.1.1.0
 Prefix Mask: 255.255.255.0
 Make this as the default route

Forwarding(Next Hop)

Interface: FastEthernet0/0
 IP Address: 172.16.1.2

Optional

Distance metric for this route: 1
 Permanent route

OK Cancel Help

宛先ネットワークアドレスを

入力します。次のウィンドウに、10.1.1.0 ネットワークへのスタティックルートが表示されています。ネクストホップ IP アドレスは 172.16.1.2 です。

Static Routing [Add...] [Edit...] [Delete] [Delete All]

Destination Network		Forwarding	Optional		
Prefix	Prefix Mask	Interface or IP address	Distance	Permanent route	Track
10.1.1.0	255.255.255.0	172.16.1.2	1	No	None

設定されたネットワーク

ダイナミックルーティングの設定

Ciscoルータでダイナミックルーティングを設定するには、次の手順を実行します。

1. [Configure] > [Router] > [Static and Dynamic Routing] の順に選択します。
2. [RIP] を選択し、[Edit] をクリックします。

Routing

Static Routing Acc... Edit... Delete Delete All

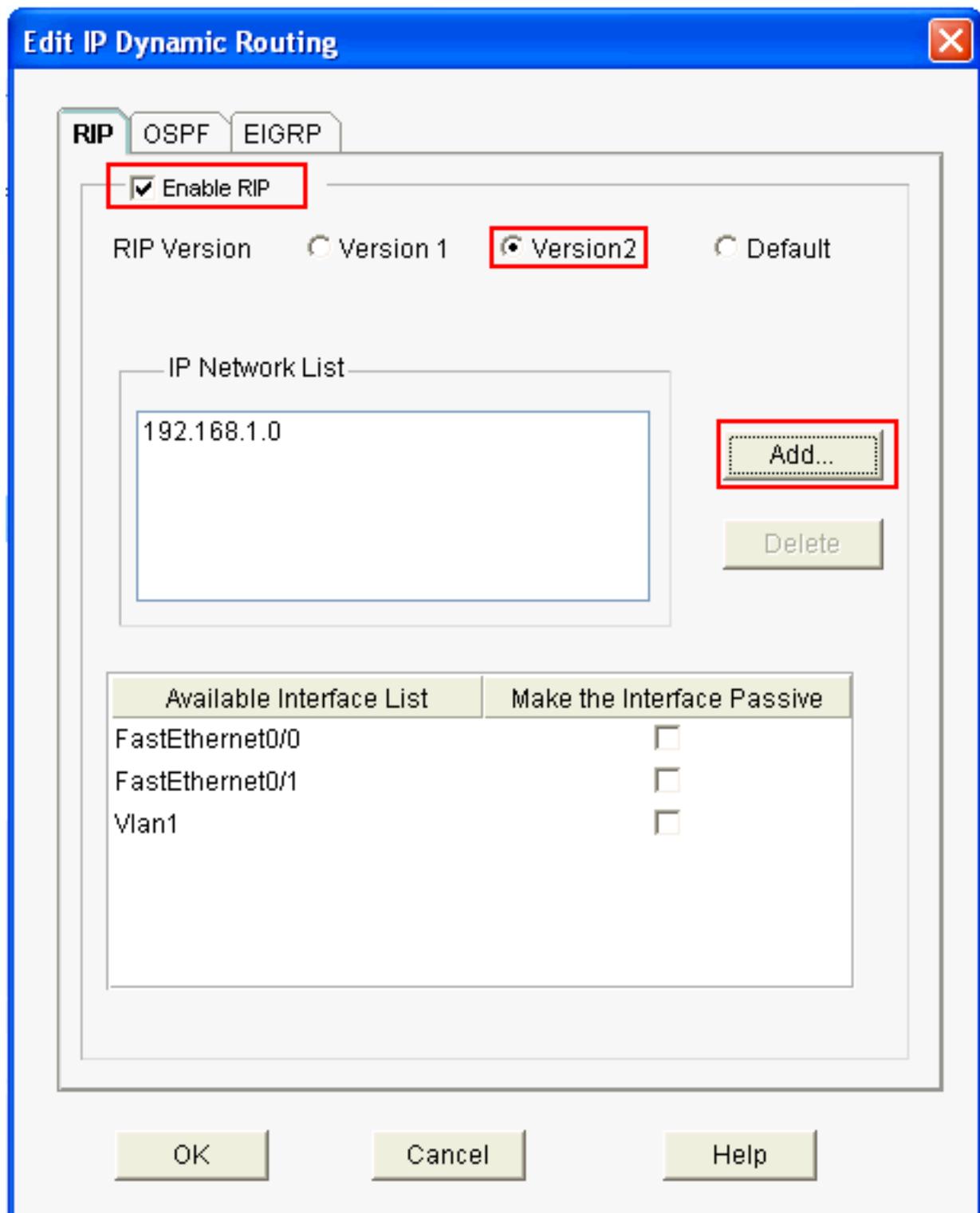
Destination Network		Forwarding	Optimal		
Prefix	Prefix Mask	Interface or IP address	Distance	Permanent Route	Track

Dynamic Routing Exit...

term Name	term Value
RIP	Disabled
OSPF	Disabled
EIGRP	Disabled

ダイナミックルーティングの設定

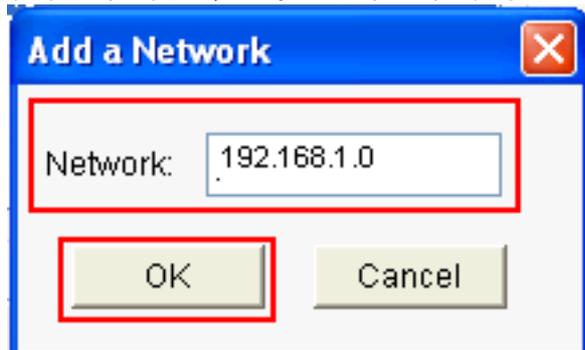
- [Enable RIP] にチェックマークを入れて RIP のバージョンを選択し、[Add] をクリックします。



RIPの有

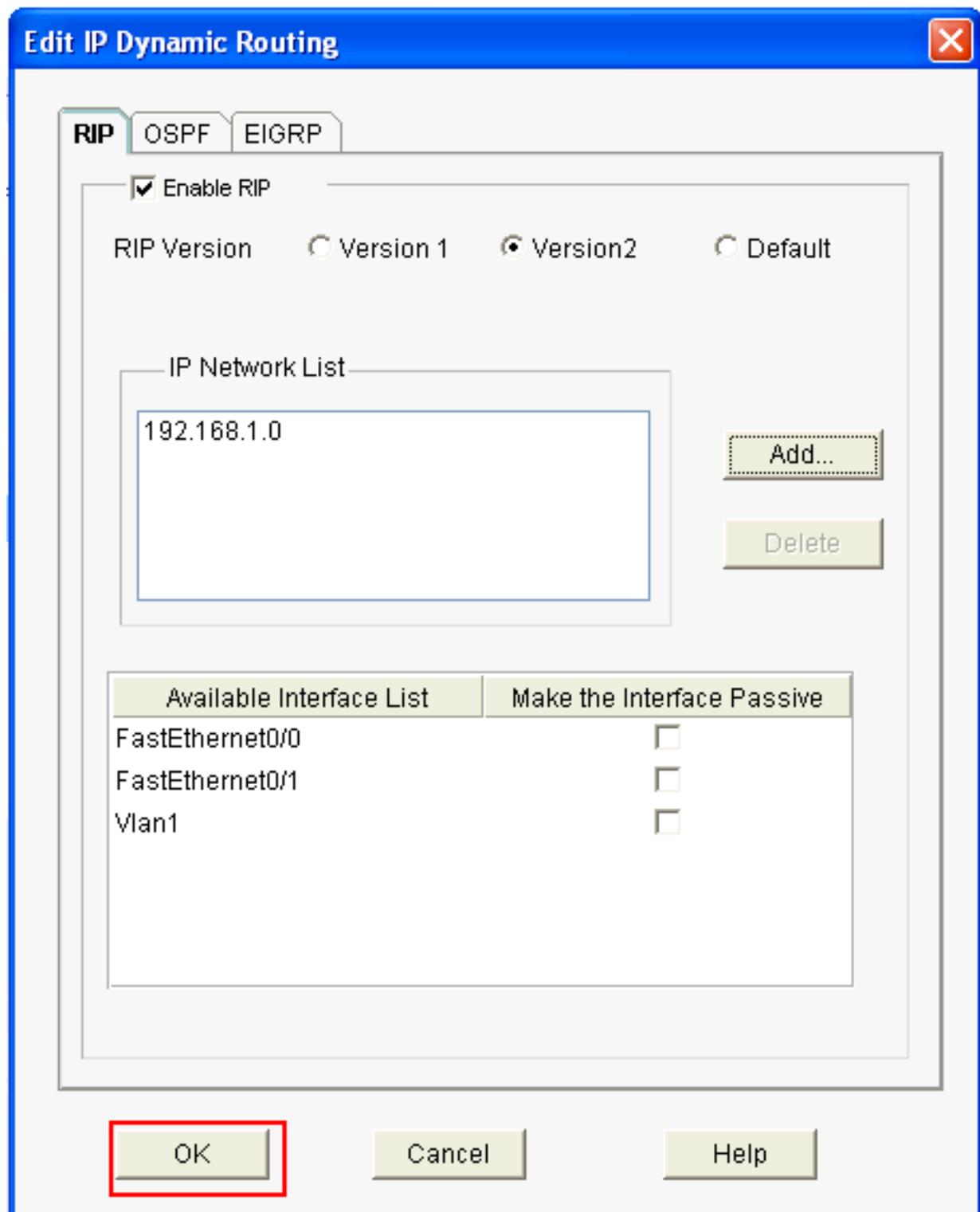
効化と追加

4. アドバタイズするネットワークアドレスを指定します。



アドバタイズするネットワークアドレス

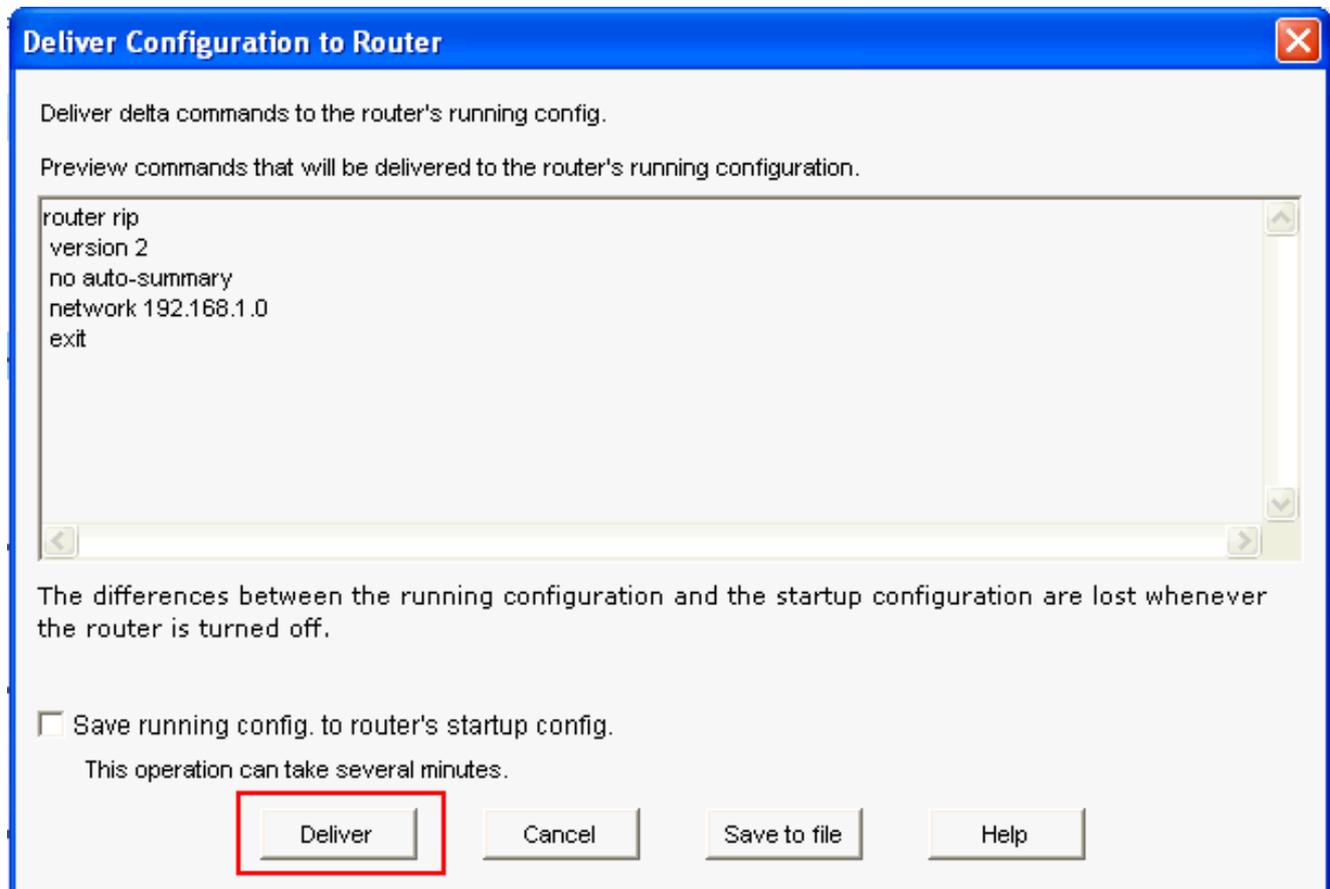
5. [OK] をクリックします。



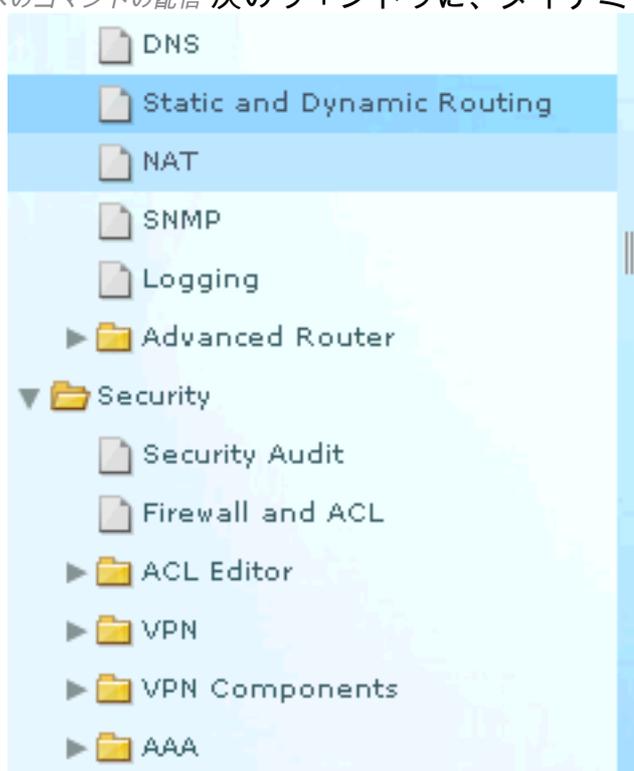
RIPを有

効にする

6. [Deliver] をクリックして、コマンドをルータに転送します。



ルータへのコマンドの配信 次のウィンドウに、ダイナミック RIP ルーティングの設定が表示され



ます。

RIPルーティングの設定

Dynamic Routing		Edit...
Item Name	Item Value	
RIP	Enabled	
RIP Version	Version2	
Network	192.168.1.0	
Passive Interface	None	
OSPF	Disabled	
EIGRP	Disabled	

RIPルーティングの設定

その他の設定

Ciscoルータのその他の基本設定を行うには、次の手順を実行します。

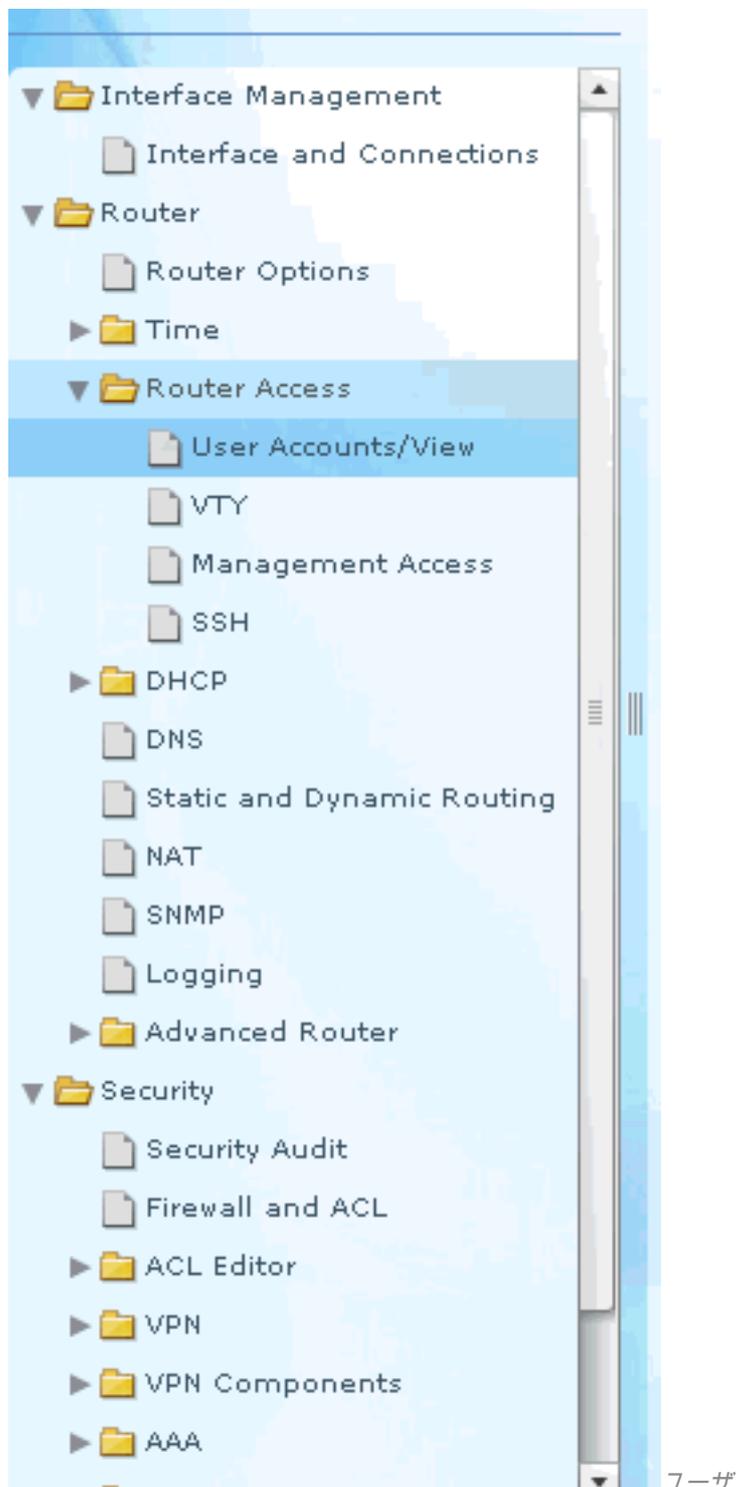
1. ルータの [Hostname]、[Domain Name]、[Banner]、[Enable Secret Password] の各プロパティを変更する場合、[Configure] > [Router] > [Router Options] の順に選択して [Edit] をクリックします。

The screenshot shows the Cisco configuration interface. On the left, a tree view shows the navigation path: Interface Management > Router > Router Options. On the right, the 'Additional Tasks' panel is visible, and below it, the 'Device Properties' table is displayed.

Item Name	Item Value
Hostname	Router
Domain Name	
Banner	None
Enable Secret Password	None

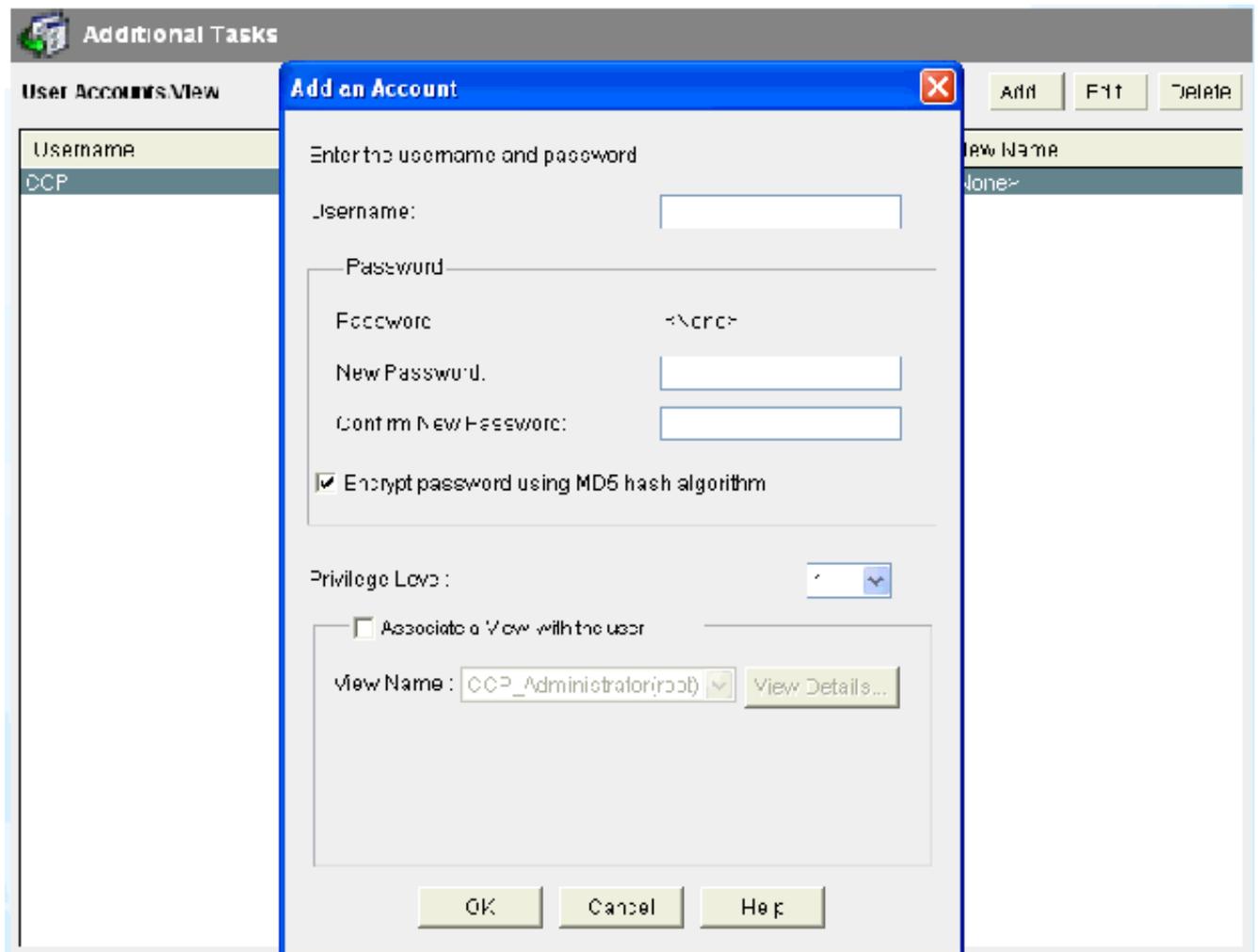
基本設定の編集

2. [Configure] > [Router Access] > [User Accounts/View] の順に選択し、ルータに対するユーザ



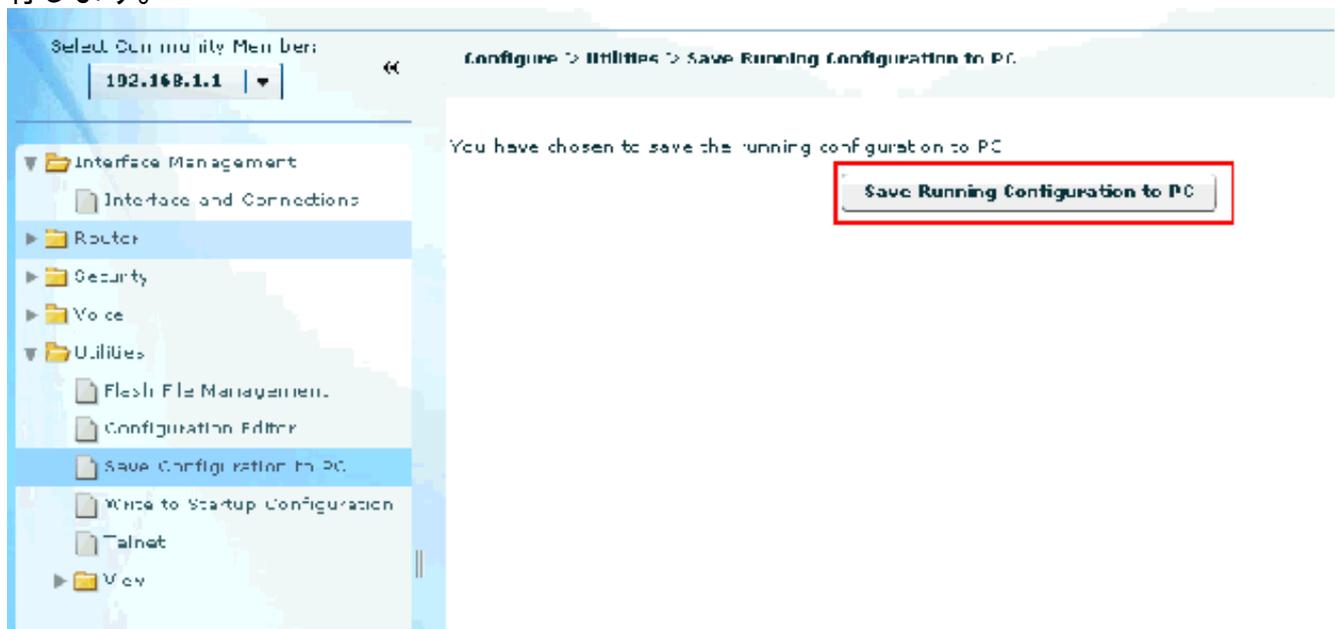
アカウントの追加/編集/削除を行います。

—アカウントの追加/編集/削除



アカウントの追加

3. 選択 **Configure > Utilities > Save Running Config to PC** ~ するために save 設定をルータの NVRAMとPCに保存し、現在の設定をデフォルト（工場出荷時）の設定にリセットします。
 注：CCPを使用して、コンピュータに保存されている設定ファイルをルータに復元する、またはルータからコンピュータに設定ファイルをバックアップするには、Configuration Editorにアクセスし、[I agree]をクリックします。[Configure]ウィンドウで、[Import configuration from PC]を選択し、Replace running configuration をクリックして、クエリーを実行します。



設定を保持する

CLIでの設定

ルータの設定

```
Router# show run
Building configuration...
```

```
Current configuration : 2525 bytes
```

```
!
version 12.4
service timestamps debug datetime msec
service timestamps log datetime msec
no service password-encryption
!
hostname Router
!
boot-start-marker
boot-end-marker
!
no logging buffered
enable password cisco
!
no aaa new-model
!
resource policy
!
ip cef
!
```

```
!--- RSA certificate generated after you enable the
```

```
!--- ip http secure-server command. crypto pki trustpoint TP-self-signed-2401602417 enrollment selfsign
```

```
subject-name cn=IOS-Self-Signed-Certificate-2401602417 revocation-check none rsakeypair TP-self-signed-2401602417 crypto pki certificate chain TP-self-signed-2401602417 certificate self-signed 01 30820248
```

```
308201B1 A0030201 02020101 300D0609 2A864886 F70D0101 04050030 31312F30 2D060355 04031326 494F532D 5365
```

```
2D536967 6E65642D 43657274 69666963 6174652D 32343031 36303234 3137301E 170D3130 30353139 30393031 3131
```

```
0D323030 31303130 30303030 305A3031 312F302D 06035504 03132649 4F532D53 656C662D 5369676E 65642D43 6572
```

```
66696361 74652D32 34303136 30323431 3730819F 300D0609 2A864886 F70D0101 01050003 818D0030 81890281 8100
```

```
A3A6E322 9B6005DA A0FF26C2 8A0DC5AF 27B38F3B DBF2BF58 D8F2655D 31115681 EC8BC750 03FE3A25 0F79DC74 3A83
```

```
CB9486F1 A1F5BF43 D92BA7AF 3C72A57B D8D37799 50493588 A5A18F7F 27955AB0 AC36B560 3BE9F648 A4F6F41F B9E9
```

```
F9570DEB 5555FDED 9593BD00 5ABB30CD D3B9BDFA F570F987 651652CE 3D310203 010001A3 70306E30 0F060355 1D13
```

```
FF040530 030101FF 301B0603 551D1104 14301282 10526F75 7465722E 70616D6D 692E636F 6D301F06 03551D23 0418
```

```
80146A0A C2100122 EFDA58AB C319820D 98256622 52C5301D 0603551D 0E041604 146A0AC2 100122EF DA58ABC3 1982
```

```
25662252 C5300D06 092A8648 86F70D01 01040500 03818100 83B0EC8C 6916178F 587E15D6 5485A043 E7BB258D 0C9A
```

```
DA18793D CACC026E BC0B9B33 F8A27B34 5BD7DD7F FCECA34F 04662AEC 07FD7677 A90A8D1C 49042963 C2562FEC 4EFF
```

```
360BF88A FEDC7CAA AE308F6C A5756C4A F574F5F3 39CE14AE BAAEC655 D5920DD0 DA76E296 B246E36E 16CFBC5A 0097
```

```
170BBDAD C1594013 quit !--- Create a user account named ccpcpp with all privileges. username ccpcpp pri
```

```
15 password 0 cisco123 archive log config hidekeys !--- The LAN interface configured with a private IP
```

```
address. interface FastEthernet0/0 description $ETH-LAN$ ip address 192.168.1.1 255.255.255.0 !--- Desi
```

```
t that traffic that originates from behind
```

```
!--- the interface is subject to Network Address Translation (NAT). ip nat inside ip virtual-reassembly
```

```
duplex auto speed auto !--- This is the LAN interface configured with a routable (public) IP address.
```

```
interface FastEthernet0/1 description $ETH-WAN$ ip address 172.16.1.1 255.255.255.0 !--- Designate that
```

```
interface is the
```

```
!--- destination for traffic that has undergone NAT. ip nat outside
```

```
ip virtual-reassembly
```

```
duplex auto
```

```
speed auto
```

```
!--- RIP version 2 routing is enabled. router rip version 2 network 192.168.1.0 no auto-summary !--- Th
```

```
where the commands to enable HTTP and HTTPS are configured. ip http server ip http authentication local
```

```
http secure-server !--- This configuration is for dynamic NAT. !--- Define a pool of outside IP address
```

```

NAT. ip nat pool pool 10.10.10.1 10.10.10.100 netmask 255.255.255.0 !--- In order to enable NAT of the
source address,
!--- specify that traffic from hosts that match access list 1
!--- are NATed to the address pool named pool1. ip nat inside source list 1 pool pool1 !--- Access list
permits only 192.168.1.0 network to be NATed. access-list 1 remark CCP_ACL Category=2 access-list 1 per
192.168.1.0 0.0.0.255 !--- This configuration is for static NAT
!--- In order to translate the packets between the real IP address 10.10.10.1 with TCP
!--- port 80 and the mapped IP address 172.16.1.1 with TCP port 500. ip nat outside source static tcp
10.10.10.1 8080 172.16.1.1 80 extendable ! ! --- The default route is configured and points to 172.16.1.1
route 0.0.0.0 0.0.0.0 172.16.1.2 ! control-plane ! line con 0 line aux 0 !--- Telnet enabled with passw
cisco. line vty 0 4 password cisco transport input all line vty 5 15 password cisco transport input all

```

確認

[Configure] > [Interface] & [Connections] > [Edit Interface Connections] > [Test Connection] の順に選択して、エンドツーエンド接続をテストします。リモート エンドの IP アドレスを指定するには、[User-specified] オプション ボタンをクリックします。

The screenshot shows a software interface for testing network connectivity. The main window is titled "Connectivity testing and troubleshooting : FastEthernet0/1". It features a section for "IP address / hostname" with two radio buttons: "Automatically determined by Cisco" and "User-specified". The "User-specified" option is selected and highlighted with a red box. Next to it is a text input field containing the IP address "172.16.1.2". Below this is a progress bar consisting of many small blue squares. A table with columns "Activity" and "Status" is visible, showing several rows with "successful" in the status column. An "Information" dialog box is open in the foreground, containing an information icon, the text "Test Connection successful! The connection is up on the selected interface.", and an "OK" button. At the bottom of the main window, there are four buttons: "Start", "Save Report...", "Close", and "Help".

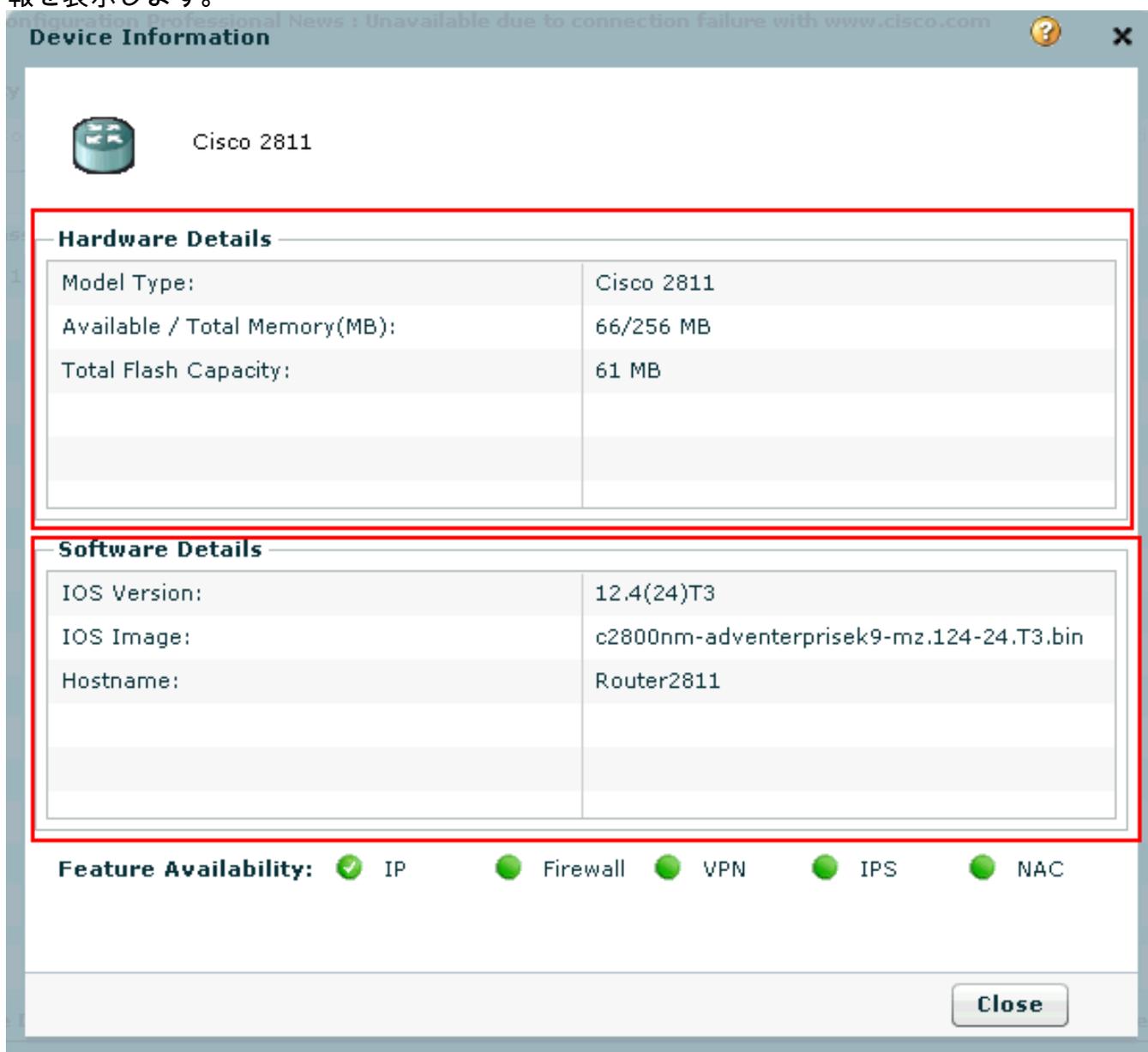
トラブルシューティング

(OIT)は、特定のshowコマンドをサポートしています。OIT を使用して、show コマンドの出力の分析を表示します。

注： debugコマンドを発行する前に、『[debugコマンドの重要な情報](#)』を参照してください。

設定のトラブルシューティングには、次のオプションを使用できます。

- [Help] > [About this Router] を選択して、ルータのハードウェアおよびソフトウェアの詳細情報を表示します。



The screenshot shows a window titled "Device Information" for a Cisco 2811 router. The window is divided into several sections:

- Hardware Details:** A table with the following information:

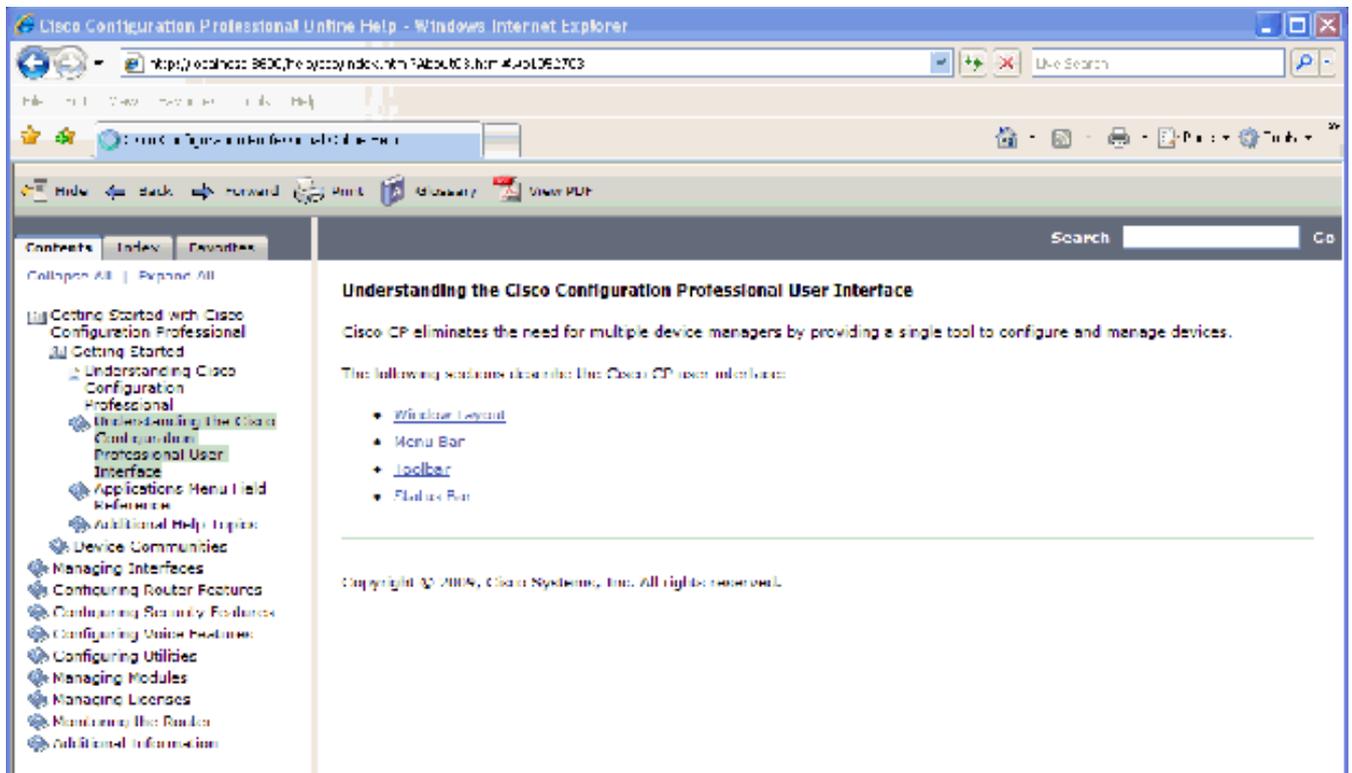
Model Type:	Cisco 2811
Available / Total Memory(MB):	66/256 MB
Total Flash Capacity:	61 MB
- Software Details:** A table with the following information:

IOS Version:	12.4(24)T3
IOS Image:	c2800nm-adventerprisek9-mz.124-24.T3.bin
Hostname:	Router2811
- Feature Availability:** A row of status indicators for various features: IP (checked), Firewall, VPN, IPS, and NAC (all shown as green circles).

A "Close" button is located at the bottom right of the window.

ハードウェアおよびソフトウェアの詳細

- [Help] オプションには、ルータの設定にCCPで使用できるさまざまなオプションに関する情報が表示されます。



さまざまなオプションに関する情報

ルータのユーザ名とパスワードを変更するにはどうすればよいのですか。

ルータのユーザ名とパスワードは、CCPを使用して変更できます。ユーザ名とパスワードを変更するには、次の手順を実行します。

1. 新しい一時的なユーザアカウントを作成して、一時的なユーザアカウントにログインします。
2. CCPでメインユーザアカウント（つまり、ユーザ名とパスワードを変更するルータのユーザアカウント）のユーザ名とパスワードを変更します。
3. 一時アカウントからログアウトし、メインユーザアカウントにログインします。
4. メインアカウントのパスワードを変更したら、一時的なユーザアカウントを削除します。

Internet Explorer 8を使用してCCPにアクセスすると、内部エラーが発生します。これを解決するにはどうすればよいですか。

問題

Internet Explorer 8を使用してCCPで2800シリーズルータを設定すると、次の内部エラーが表示される場合があります。

```
Internal error: [FaultEvent fault=[RPC Fault faultString="Send failed"
faultCode="Client.Error.MessageSend"
faultDetail="Channel.Connect.Failed error NetConnection.Call.Failed: HTTP: Status 200: url:
'http://localhost:8600/messagebroker/amf '"] messageId="A08846FF-E7C6-F578-7C38-61C6E94899C7"
type="fault" bubbles=false cancelable=true eventPhase=2]
```

Javaをダウングレードしても問題は解決しないため、ダウングレードしないでください。

解決方法

このエラーは、ブラウザの互換性の問題が原因である可能性があります。Internet Explorer 8は、IE用に開発されたアプリケーションの多くの基本的な側面を変更します。シスコでは、Internet Explorer をバージョン7にダウングレードすることを推奨しています。また、インストールを削除してから、CCPを再インストールする必要があります。

CCPをインストールしようとする、次のエラーメッセージが表示されます。「Unable to read the source file.File could be Corrupted.Please re-install Cisco Configuration Professional to resolve the issue.」これを解決するにはどうすればよいですか。

問題

アプリケーションセットアップファイルをダウンロードしてCCPをインストールしようとする、次のエラーが表示される場合があります。

```
Unable to read the source file. File could be Corrupted.  
Please re-install Cisco Configuration Professional to resolve the issue
```

解決方法

この問題を解決するには、次のようにします。

1. PC上のCCPのすべてのインスタンスを削除し、新しいダウンロードとインストールを実行します。
2. 前の手順で解決しない場合は、別のバージョンのCCPをダウンロードしてみてください。
3. 前の手順で問題が解決しない場合は、[Cisco Worldwide Support Contacts](#)にお問い合わせください。

注: Cisco TACに連絡するには、有効なシスコユーザクレデンシャルが必要です。

CCPテクニカルログにアクセスするにはどうすればよいですか。

[Start] > [Programs] > [Cisco Systems] > [Cisco Configuration Professional] > [Collect Data for Tech Support] の順にクリックします。CCPは、*_ccptech.zip*という名前のzipファイルにログを自動的にアーカイブします。このファイルがローカルファイルシステムで検索されない場合は、ローカルファイルシステムで検索を実行し *saved* をデスクトップに追加します。これらの技術ログは、シスコワールドワイドサポートの[お問い合わせ先に送信できます](#)。

注：アーカイブされたログが原因で発生するその他の問題を回避するには、CCPのすべてのインスタンスを閉じます。

ルータのディスカバリには通常よりも時間がかかります。この問題を解決するにはどうすればよいのですか。

問題

CCPが起動され、コミュニティが設定されると、ルータの検出に通常より時間がかかります。経過時間を示すCCPログを次に示します。

July 10, 2009 8:29:19 AM EDT Discovering device test-router
July 10, 2009 8:29:20 AM EDT Last discovery clean-up elapsed time was 47 milliseconds.
July 10, 2009 8:31:13 AM EDT Discovery job allocation elapsed time was 113859 milliseconds.
July 10, 2009 8:31:13 AM EDT Authentication completed.
July 10, 2009 8:40:28 AM EDT Video feature disabled. Video feature discovery elapsed time=214375 ms
July 10, 2009 8:51:15 AM EDT Security feature ready - elapsed time was 860734 milliseconds.
July 10, 2009 8:51:16 AM EDT Total device test-router discovery elapsed time was 1316047 milliseconds.

この問題は、モデルやプラットフォームにかかわらず、すべてのルータで発生します。また、ルータにはメモリやCPUに関連する問題はありません。

解決方法

認証モードを確認します。認証がローカルで行われない場合は、これを認証するサーバに問題がないか確認します。この問題を解決するには、このサーバの問題を修正します。

CCPでIPS設定ページを表示できません。この問題を解決するにはどうすればよいのですか。

問題

[Configuration]ウィンドウの特定の機能で空白のページ以外が表示されない場合は、非互換性の問題が発生している可能性があります。

解決方法

この問題を解決するには、次の項目を確認します。

- その特定の機能がルータ モデルでサポートされ、有効になっているかを確認します。
- ルータのバージョンがその機能をサポートしているかを確認します。バージョンをアップグレードすることで、ルータ バージョンの互換性の問題を解決できる場合があります。
- 現在のライセンスの問題ではないか確認します。

関連情報

- [NAT に関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとダウンロード – Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。